Uniden

取扱説明書

ハイビジョン対応地上デジタルチューナー

DT100-HDMI

リモコンコード
切換機能付き

はじめに
準備する
地上デジタル放送を見る
各種設定のしかた
ご参考



このたびはユニデン地上デジタルチューナーをお買い上げいただきありがとうございます。

■製品をご使用になる際は必ず「安全上のご注意」をお読みください。安全のための注意事項をお守りいただけない場合は、お使いになるかたや他の人への危害や物的損害の原因となることがあります。
■この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。よくお読みの上、安全にお使いください。
■54ページが保証書になっています。お買い上げ日をご記入の上、配送時の伝票と共に大切に保管してください。

〈ユニデンダイレクト〉ホームページ **http://www.uniden-direct.jp/**で最新情報をご覧いただけます。

地上デジタル放送について

アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は 2006 年末までに放送が開始されます。該当地域における受信可能エリアは当初限定されていますが、順次拡大される予定です。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は 2011 年 7 月までに、BS アナログテレビ放送は 2011 年までに終了することが国の法令によって定められています。

地上デジタル放送の受信方法について

～アンテナでご視聴の場合～
地上デジタル放送を受信するためには UHF アンテナが必要です。現在お使いのアンテナが UHF または UHF/VHF 混合アンテナの場合はそのまま使用できる場合があります。
UHF アンテナの向きの変更が必要な場合があります。その際は電器店やアンテナ設置業者等にご相談ください。詳しくは 20 ページをご覧ください。

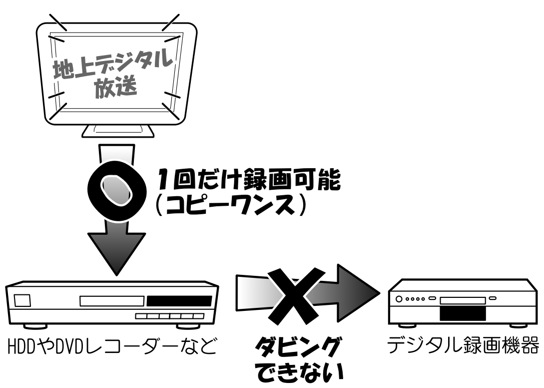
～ケーブルテレビでご視聴の場合～
ご契約のケーブルテレビ局にご相談ください。詳しくは 20 ページをご覧ください。

～マンションなど集合住宅の場合～
現在、UHF 放送を受信している設備であれば受信できる場合があります。
詳しくは、お住まいの管理組合または管理会社等にお問い合わせください。

B-CAS カードについて

地上デジタル放送を見るには本機に付属の B-CAS（ビーキャス）カードが必要です

デジタル放送の番組は、画質・音質を劣化させることなく何度でも録画やダビングが可能です。そのため放送番組の不正コピーを防止し、著作権を保護する目的で「1 回だけ録画可能」（コピーワンス）のコピー制御信号を加え、さらに B-CAS カードを利用したコンテンツ権利保護の仕組みが導入されています。B-CAS カードを受信機に挿入しないと、デジタル放送が正しく受信できません。詳しくは 24 ページをご覧ください。



もくじ

第1章　はじめに

第2章　準備する

第3章　地上デジタル放送を見る

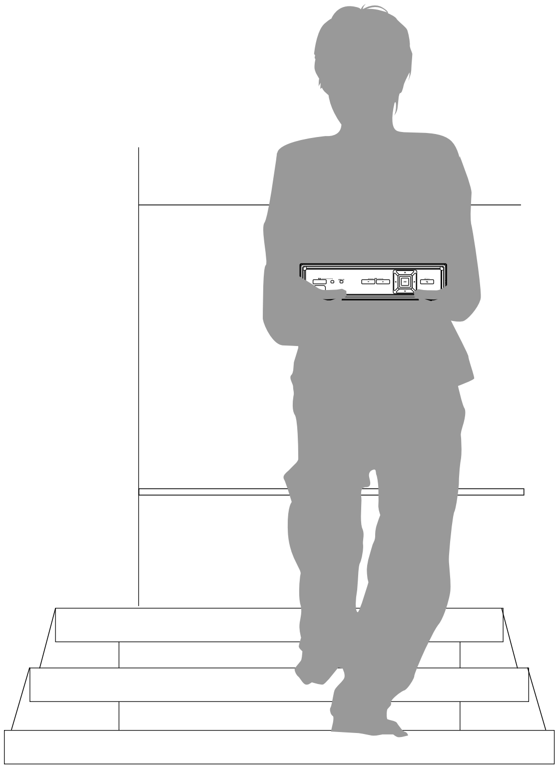
第4章　各種設定のしかた

第5章　ご参考

1

第 1 章

はじめに



安全上のご注意

製品を正しく安全にご使用いただくために、ご使用の前に必ず次の事項をお読みください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警 告	火災、感電などにより死亡や大けがを負うおそれがある内容を示しています。
⚠注 意	けがをしたり周囲の物品に損害を与えるおそれのある内容を示しています。

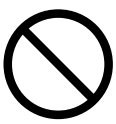
絵表示の説明

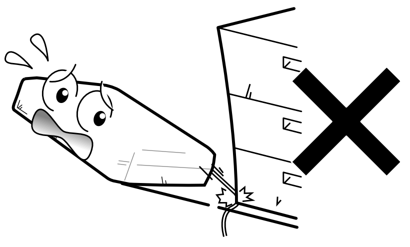
注意をうながす記号	行為を禁止する記号	行為を指示する記号
一般的注意	禁　止 / 分解禁止 / ぬれ手禁止	一般的指示 / 電源プラグを抜く

⚠警 告

電源コードを傷つけないでください
火災・感電などの原因となります

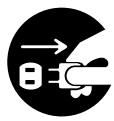
・設置時に、製品と壁や床などの間に挟み込んだりしない
・電源コードを加工したり、傷つけたりしない
・重いものをのせたり、引っ張ったりしない
・熱器具に近づけたり、加熱したりしない
・電源コードを抜く時は、必ずプラグを持って抜く

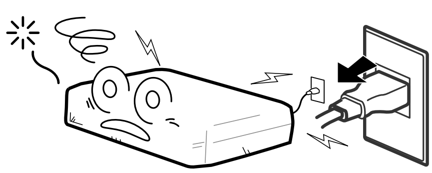

禁　止



破損したり、異常が発生した場合は
電源プラグを抜いてください
火災・感電などの原因となります

・落としたり、本機の一部を破損した場合は、電源を切り、電源プラグを抜く
・煙やにおい、音などの異常が発生したら、電源を切り、電源プラグを抜く


電源プラグを抜く



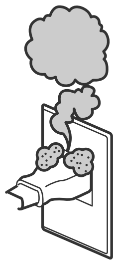
安全上のご注意（つづき）

⚠警 告

電源プラグにホコリなどが付着しているときは、電源プラグを抜いて乾いた布で取り除いてください

・そのまま使用すると火災・感電の原因となります。





ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください

・感電の原因となることがあります。

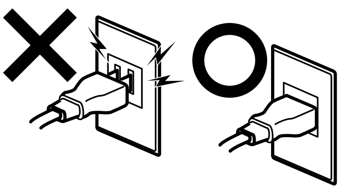




電源プラグは確実に差し込んでください

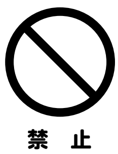
・差し込みが不完全な場合は発熱したり、ほこりが付着して火災・感電の原因となることがあります。

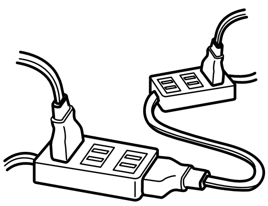




タコ足配線をしないでください

・火災や感電の原因となることがあります。

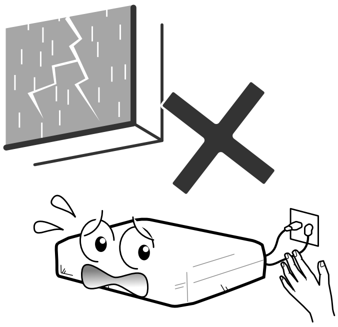




雷が鳴り出したら、本機やアンテナ線、電源プラグに触れないでください

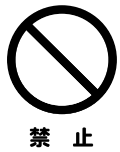
・感電の原因となります。

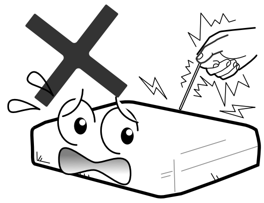




内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり入れたりしないでください

・火災や感電の原因となることがあります。万一異物が入ったときは、すぐ電源を切り、電源プラグを抜いてください。

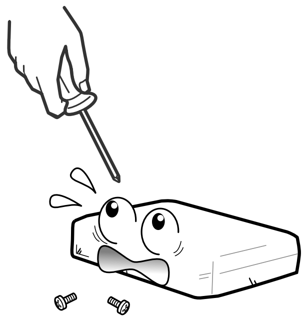




本機を分解したり、改造したりしないでください

・内部には電圧の高い部分があるため、触ると感電の原因となります。



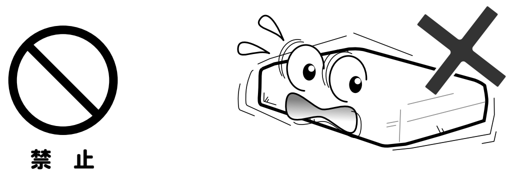


安全上のご注意（つづき）

⚠警告

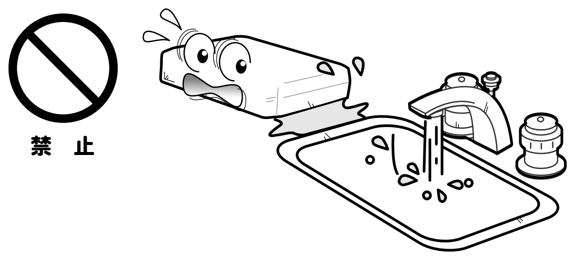
不安定な場所に置かないでください

・落下したりして、けがの原因となります。



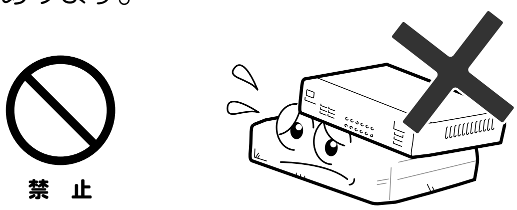
水滴のかかる場所や、湿気、湯気、油気、ほこりの多いところには設置しないでください

・火災、感電の原因となることがあります。



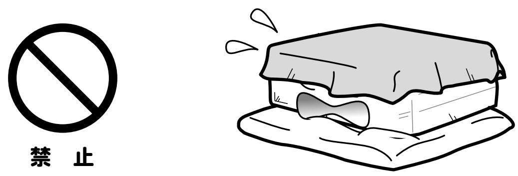
重いものを置いたり、他の機器を重ねて置いたりしないでください

・故障や火災などの原因となることがあります。



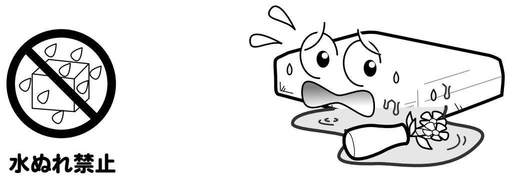
風通しの悪い所やじゅうたんの上に置いたり、布などをかけないでください

・内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。



近く、または上に花瓶など水の入ったものを置かないでください

・水がこぼれるなどして中に入ると、火災、感電の原因となります。
万一水が入ったときはすぐ電源を切り、電源プラグを抜いてください。



安全上のご注意（つづき）

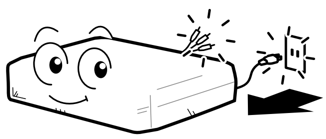
⚠注 意

移動するときは、接続されている線をすべてはずしてください

・コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

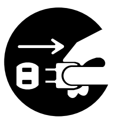


接続線をはずす

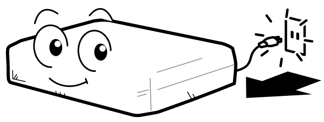


お手入れや長時間使用しないときは電源プラグを抜いてください

・感電や火災の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

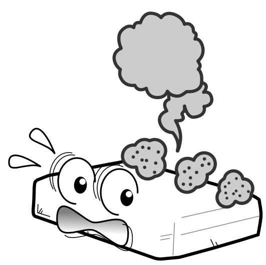


通風孔に付着したほこりやゴミはこまめに取り除いてください

・火災の原因となることがあります。



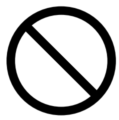
ほこりをとる



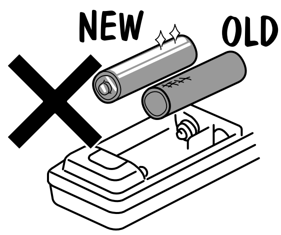
■リモコンの取り扱いについて

指定以外の電池を使ったり、新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください

・破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



禁　止

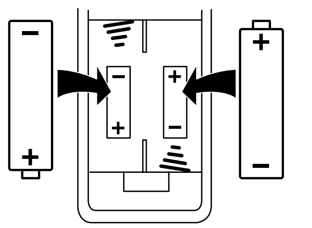


電池の＋と－の向きを正しく入れてください

・破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



表示通りに入れる

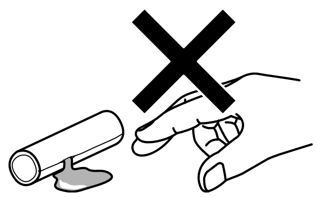


アルカリ電池の液が漏れた場合は素手で触らないでください

・皮膚の炎症、失明やけがの原因となることがあります。目に入った場合は流水で洗い、眼科医へご相談ください。



接触禁止



※使用済み電池の処分について

・使用済みの電池は地域の規則に従って処分してください。

使用上のお願い

守っていただきたいこと

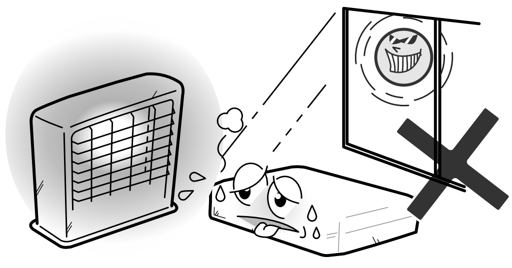
国外では使用できません

・この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送形式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.



設置について

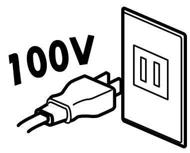
・発熱する機器の近くや直射日光の当たる場所には本機を置かないでください。



・本機の上には物を置かないでください。
・不安定な場所や湿気の多い所に置かないでください。
・窓際に置く場合は、雨や雪などで濡らさないようご注意ください。

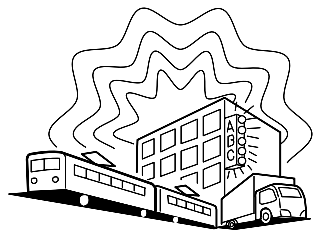
電源・電圧について

・指定（AC100V 50/60Hz）以外の電源は使わないでください。
指定以外の電源を使用した場合は故障の原因となります。
・電源コードは、必ず付属品をお使いください。



UHF または UHF/VHF アンテナについて

・妨害電波の影響を避けるため、交通の頻繁な自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
万一、アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。



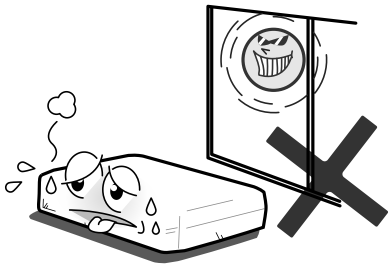
・アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となります。
・アンテナは風雨にさらされるため、定期的な点検・交換を心がけてください。特に、ばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが痛みやすくなります。映りが悪くなったときは、電器店や設置業者等にお問い合わせください。
・アンテナを新たに設置する場合は、アンテナに付属のマニュアルにしたがって正しく取り付けを行ってください。

使用上のお願い（つづき）

守っていただきたいこと（つづき）

直射日光や熱気を避けてください

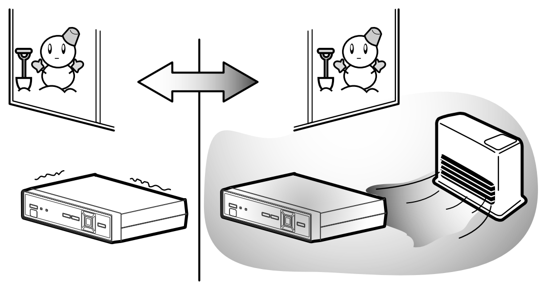
・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。



・窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置したりすると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。

急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

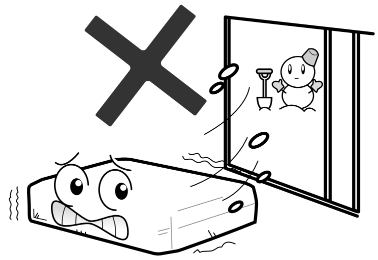
・急激な温度変化が起こる部屋（場所）でのご使用は画面の表示品位が低下する場合があります。



低温になる部屋（場所）でのご使用の場合

・低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や故障の原因となります。

使用温度：0℃～＋40℃

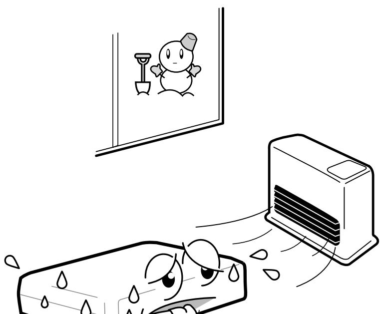


結露について

・本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などでは、表面や内部に結露（水滴が付着）が発生することがあります。そのままご使用になると故障の原因となりますので、結露が起きた時は結露がなくなるまで電源プラグをコンセントに接続しないでください。



注　意

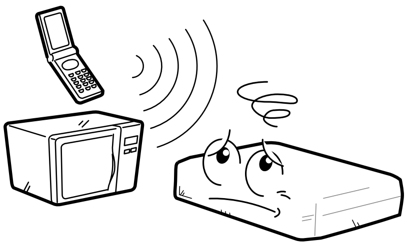


使用上のお願い（つづき）

守っていただきたいこと（つづき）

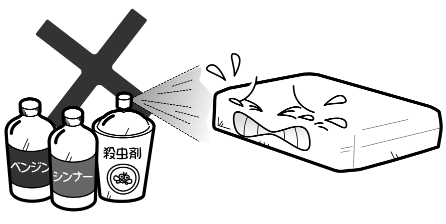
電磁波妨害に注意してください

・本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。



お手入れのしかた

・お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
・汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。
・汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。
・殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。跡がついたり、変色などの原因となります。



使用上のご注意

・あなたがビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用することはできません。

・本機の不具合により録画できなかった場合等の補償については一切応じられませんのであらかじめご了承ください。

・「お知らせ」などのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一本機の不具合によって、これらの情報が消失した場合の復元は不可能です。その内容等の補償については応じられませんのであらかじめご了承ください。

・B-CAS（ビーキャス）カード（ICカード）は地上デジタル放送を視聴していただくための大切なカードです。B-CASカードを挿入しないとデジタル放送番組を視聴できません。詳しくは24ページをご覧ください。

はじめに

第 2 章

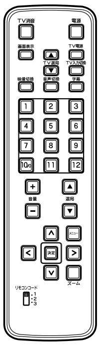
準備する



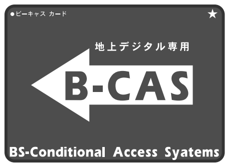
付属品

下記の付属品がすべて揃っているかご確認ください。

リモコン（1 個）

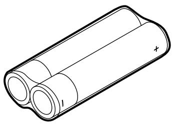


B-CAS（ビーキャス）カード（1 枚）

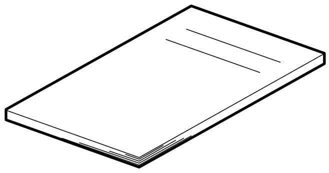


※本機には青色の B-CAS カードが
付属しています。
（必ず本機付属のものをお使いください。）

単 4 乾電池（2 個）

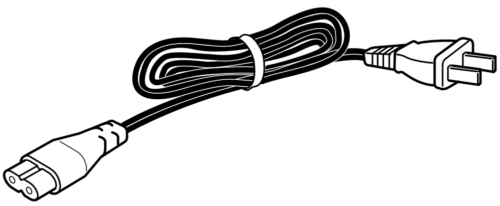


取扱説明書（1 冊）

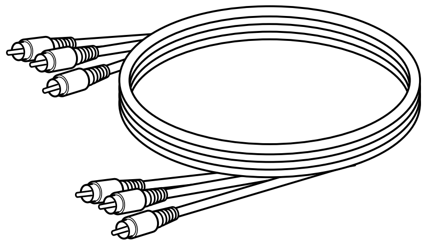


※54 ページが保証書になっています。
お買い上げ日をご記入のうえ、配送時の伝票と共に大切に保管してください。

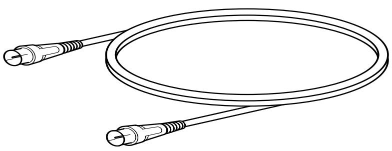
電源コード（1 本）



AV ケーブル（1 本）



アンテナケーブル（1 本）



各部のなまえ（リモコン）

TV消音ボタン ☞32ページ
一時的にテレビの音を消します。
もう一度押すと解除されます。

TV選局ボタン ☞32ページ
テレビのチャンネルを選局するときに使います。

画面表示ボタン ☞33ページ
番組を見ているときに押すと、チャンネル番号などが表示されます。

電源ボタン ☞25ページ
本機の電源を入/切します。

TV電源ボタン ☞25ページ
テレビの電源を入/切します。

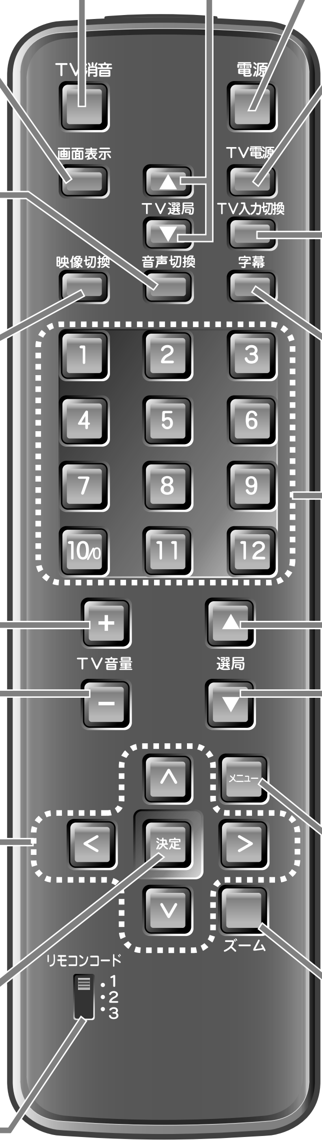
音声切換ボタン ☞35ページ
見ている番組が二ヶ国語放送や主/副音声放送の場合、ボタンを押すごとに音声モードが切り換わります。

TV入力切換ボタン ☞25ページ
テレビの入力を切り換えます。

映像切換ボタン ☞36ページ
見ている番組がマルチビュー放送の場合、ボタンを押すごとに映像が切り換わります。

字幕ボタン ☞34ページ
字幕の表示、非表示を切り換えます。

数字ボタン ☞32ページ
チャンネル番号を入力するときに使います。



TV音量ボタン ☞32ページ
テレビの音量を調節します。

選局ボタン ☞32ページ
登録されているチャンネル（1～20）を選択します。

カーソルボタン ☞25ページ
メニュー設定項目を選択するときに使います。

メニューボタン ☞40ページ
メニュー設定画面を表示します。

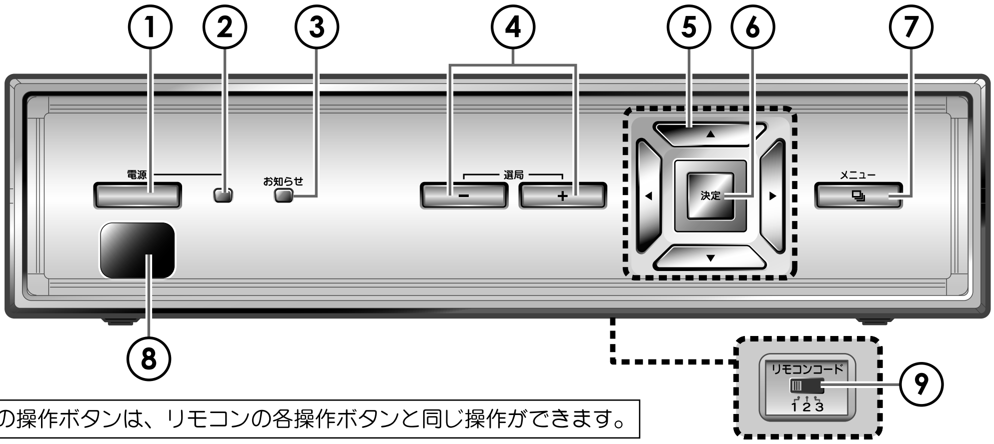
決定ボタン ☞25ページ
メニュー設定で選択した項目を確定するときに使います。

ズームボタン ☞37ページ
テレビ画面をズーム表示に切り換えます。

リモコンコード切換スイッチ ☞38ページ
スイッチを切り換えることにより、同じ部屋で本機を３台まで個別にリモコン操作できます。

※ ボタンはテレビを操作するためのボタンです。
このボタンでテレビを操作するには、TV メーカーコードの設定が必要です（☞30 ページ）。
また、このボタンの操作時はご使用のテレビのリモコン受光部に向けて操作してください。
（本機のリモコン受信部に向けて操作しても動作しません。）

各部のなまえ（本体）



※本体の操作ボタンは、リモコンの各操作ボタンと同じ操作ができます。

① **電源ボタン**
本機の電源を入/切します。

② **電源ランプ**
電源を入れると緑点灯し、電源切（スタンバイ）時に赤点灯します。

③ **お知らせランプ**
放送局からの「お知らせ」情報が未読状態のときに点灯します。

④ **選局ボタン**
チャンネルを選択します。

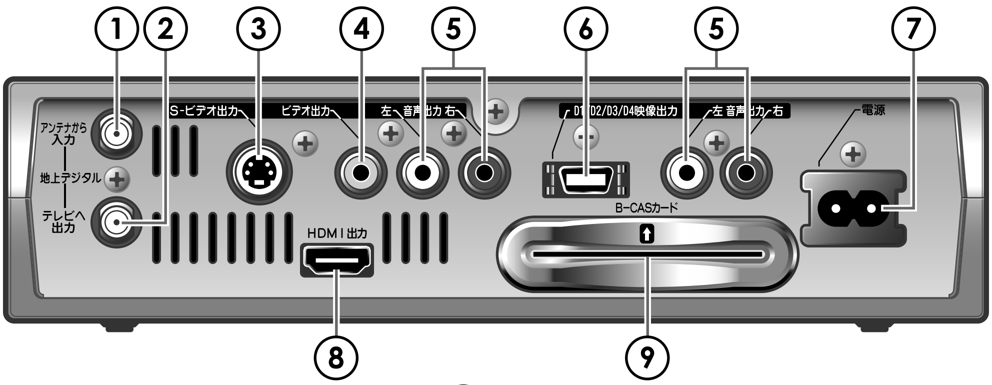
⑤ **カーソルボタン**
メニュー設定項目を選択するときに使います。

⑥ **決定ボタン**
メニュー設定項目で選択した項目を確定するときに使います。

⑦ **メニューボタン**
メニュー設定画面を表示させます。

⑧ **リモコン受光部**
リモコンの信号を受信します。

⑨ **リモコンコード切換スイッチ**
リモコン信号の受信コードを切り換えます。



① **アンテナ入力端子**
地上デジタル放送対応アンテナを接続します。

② **アンテナ出力端子**
録画機器やテレビなどを接続する場合に使います。

③ **S-ビデオ出力端子（S２対応）**
S映像入力端子のあるテレビなどを接続する場合に使います。

④ **映像出力端子**
テレビの映像入力端子に接続します。
（⑤**音声出力端子**も同時に接続してください）

⑤ **音声出力端子**
テレビの音声入力端子に接続します。

⑥ **D1/D2/D3/D4映像出力端子**
D映像入力端子、またはコンポーネント端子のあるテレビに接続する場合に使います。
（⑤**音声出力端子**も同時に接続してください）

⑦ **電源入力**
付属の電源コードを接続します。

⑧ **HDMI出力端子**
HDMI入力端子のあるテレビに接続する場合に使います。

⑨ **B-CASカード挿入口**
B-CASカード（付属）を挿入します。

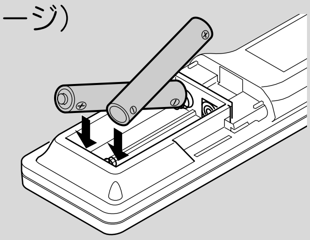
準備する

ご使用の前に

お買い上げ後初めてお使いになるときは、次の手順で本機の準備をしてください。

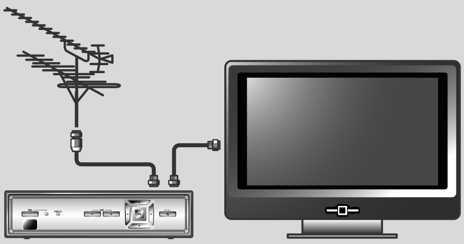
1 リモコンに電池を入れます

(☞ 18 ページ)



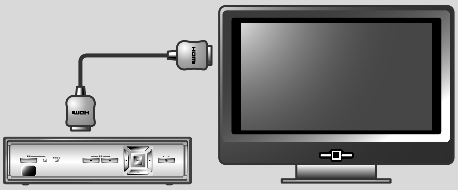
2 アンテナケーブルを接続します

(☞ 19 ページ)



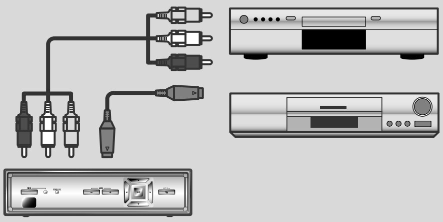
3 テレビを接続します

(☞ 21 ページ)



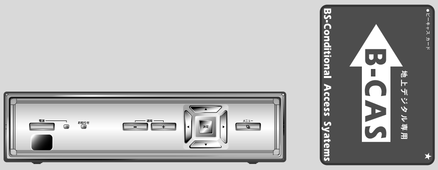
4 各機器を接続します

(☞ 23 ページ)



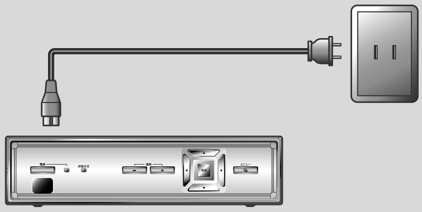
5 B-CAS（ビーキャス）カードを挿入します

(☞24 ページ)



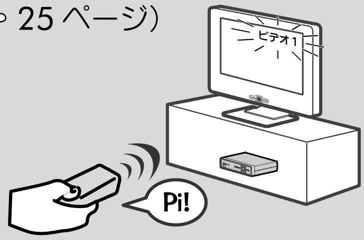
6 電源を接続します

(☞ 24 ページ)



7 電源を入れ、入力を切り替えます

(☞ 25 ページ)



8 初期設定をします

(☞ 26 ページ)

・接続したテレビの設定
・端子出力の設定
・チャンネル設定

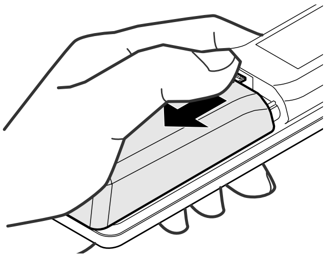
これで基本の接続と設定は完了です。

リモコンを準備する

乾電池の入れかた

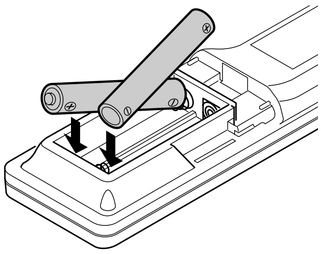
1 カバーをあけます

カバーをスライドさせてはずします。



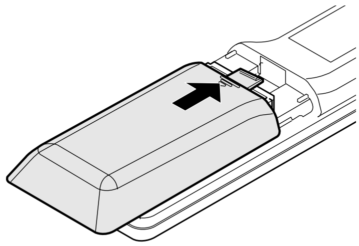
2 乾電池を入れます

単 4 乾電池 2 本をケース内の表示通りに
入れてください。
（⊕、⊖の位置を正しく入れてください。）



3 カバーを閉めます

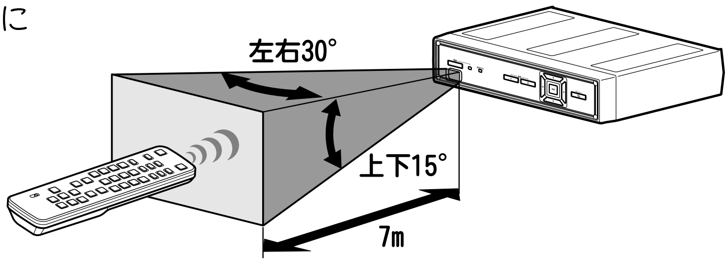
カバー上方にあるツメをリモコン本体内部に
入れ、パチンと音がするまでスライドさせます。



使いかた

●リモコンの先端部を、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

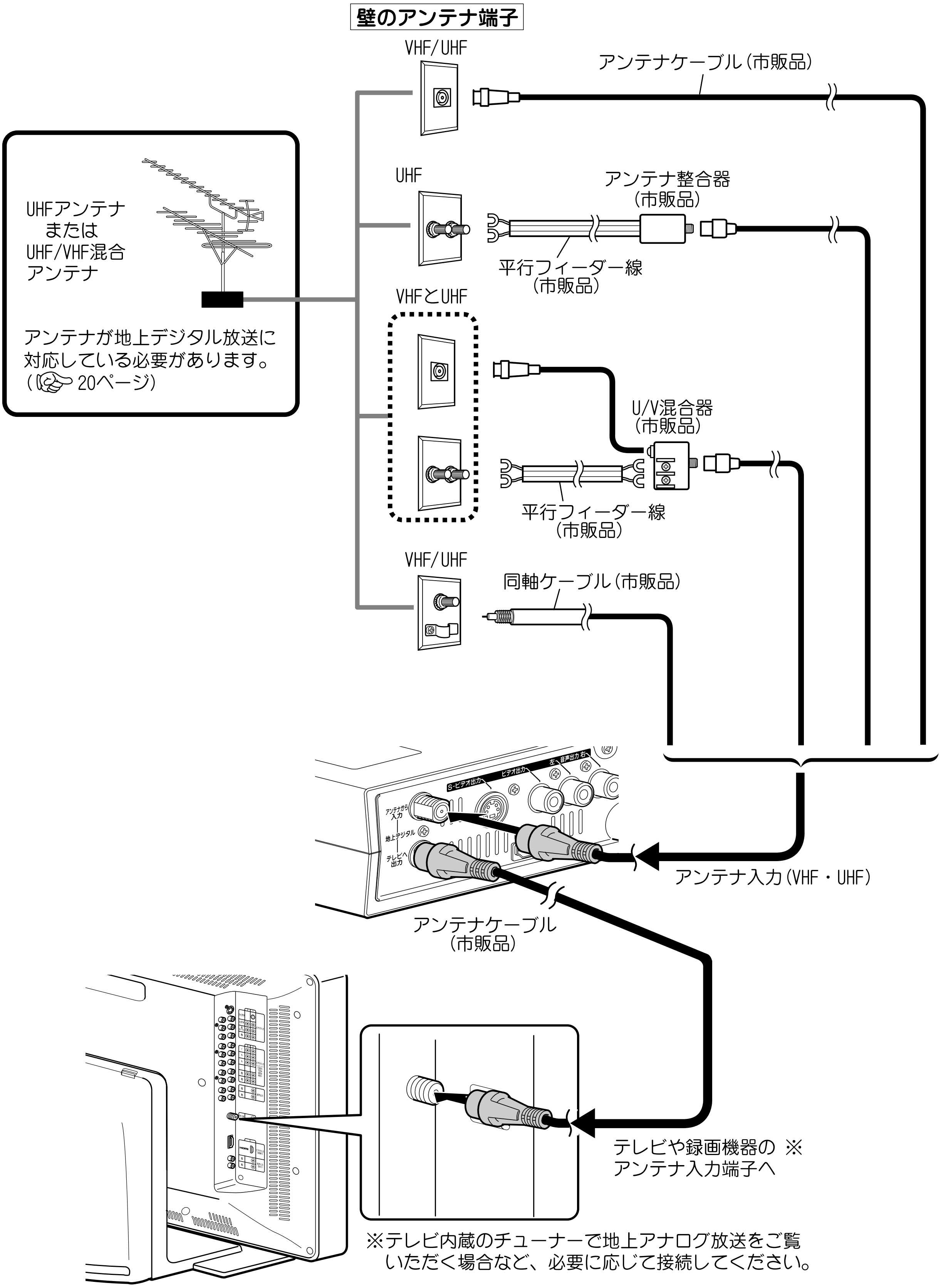
リモコンの操作範囲は本体正面よりおよそ7 メートル以内で、本体正面より左右 30°以内、上下 15° 以内です。



●リモコン操作で本機が動作しない場合（本体のボタンでは動作する）は、リモコンの乾電池寿命が考えられます。新しい電池に交換してください。
●リモコンを直射日光の当たる場所に放置したり、取り付けないでください。
熱により変形したり、誤動作する場合があります。
●本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっているとリモコン操作がしにくくなります。
照明または本機の向きを変えるか、リモコン受光部に近づけて操作してください。
●リモコンを落としたり、強い衝撃を与えないでください。
また、水にぬらしたり温度の高いところに置かないでください。

▌アンテナを接続する

アンテナケーブル・整合器などを、使用するアンテナ端子に応じて接続し、本機のアンテナ入力端子に接続してください。



※テレビ内蔵のチューナーで地上アナログ放送をご覧いただく場合など、必要に応じて接続してください。

準備する

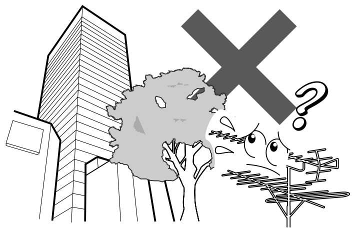
アンテナを接続する（つづき）

ご参考

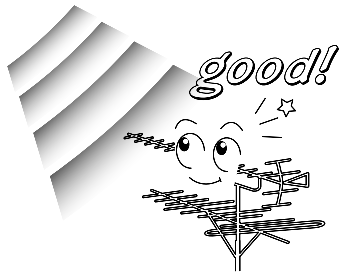
● 地上デジタル放送受信アンテナについて

地上デジタル放送を受信するためには UHF アンテナが必要です（☞3 ページ）。

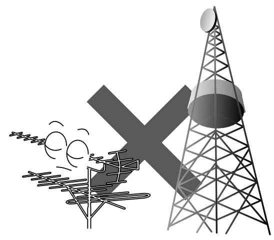
設置および接続が正しく行われていた場合でも、周辺に
電波障害の原因となる高層建造物が建っていたり、発信基地が
遠距離のため電波が弱い場合などは受信ができなかったり、
特定の放送局しか受信できないなどの障害が発生することが
あります。



電器店やアンテナ設置業者等にご相談
の上、最良の電波状態となるよう
アンテナを設置してください。



地上アナログ受信用とは別に、
地上デジタル受信用のアンテナを
設置するときは、電器店やアンテナ
設置業者等とご相談のうえ、
アンテナを設置してください。



本機を設置・設定後、アンテナの受信レベルを確認することができます。
詳しくは「アンテナレベル」（☞45 ページ）をご覧ください。
画像が映らない、または乱れるなどの問題がある場合は、「地上デジタル放送の受信ができないときは」（☞51 ページ）のフローチャートにしたがって、アンテナの準備や調整などを行ってください。または、「故障かな？と思ったら」（☞52 ページ）をご覧ください。

● きれいな画像をお楽しみいただくために

安定したデジタル映像をお楽しみいただくためにはアンテナの接続状態がとても重要です。
下記のようにアンテナの接続と設置を確実に行い、電波妨害を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

・本機のアンテナ入力端子への接続は、必ず付属のアンテナ接続ケーブルをお使いください。
・アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。

● CATV での受信について

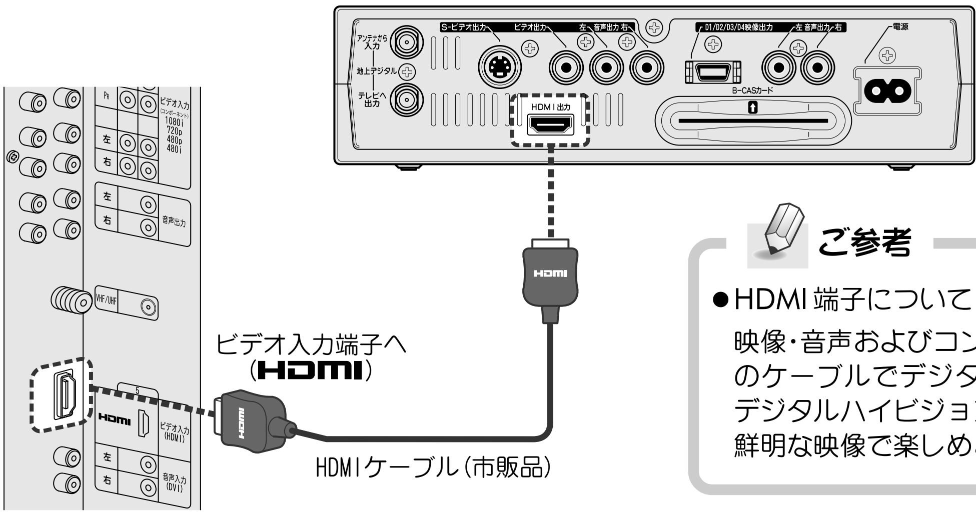
CATV 受信にはいくつかの方式があります。本機は「同一周波数パススルー方式」および「周波数変換パススルー方式」に対応可能です。詳しくはご契約の CATV 会社にお問い合わせください。または、「地上デジタル放送の受信ができないときは」（☞51 ページ）のフローチャートにしたがってお確かめください。

テレビを接続する

ご注意

- テレビを接続するときは、必ず本機および接続するテレビの電源を「切」にしてください。
- 映像・音声接続用のプラグと端子は、色分けがしてあります。ケーブルと接続端子のそれぞれの色が合うように接続してください。
- 映像出力端子 / 音声出力端子には、映像 / 音声信号以外のものを接続しないでください。故障の原因となることがあります。
- 接続する機器の詳しい使用方法や接続については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続時のご注意
  - ・プラグは奥まで完全に差し込んでください。不完全な接続は、ノイズの原因となります。
  - ・プラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグを持って抜き取ってください。

HDMI 入力端子付テレビの場合



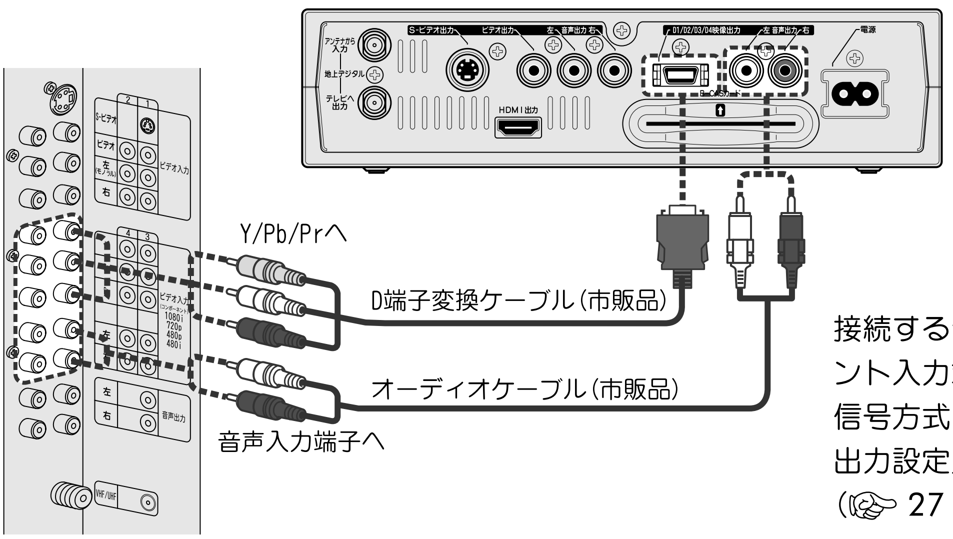
ご参考

- HDMI 端子について

  映像･音声およびコントロール信号を1本のケーブルでデジタル伝送できるため、デジタルハイビジョン放送などをより鮮明な映像で楽しめます。

※HDMI および HDMI ロゴは HDMI LICENSING LLC の商標または登録商標です。

コンポーネント映像入力端子付テレビの場合



接続するテレビのコンポーネント入力端子が対応している信号方式に合わせて「D 端子出力設定」をしてください。

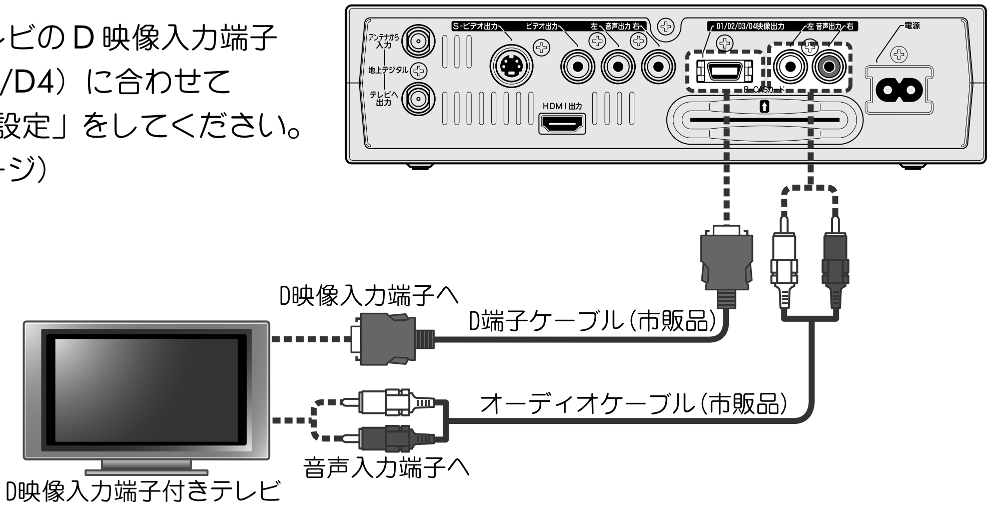
(☞ 27 ページ)

準備する

▌テレビを接続する（つづき）

D 端子入力付テレビの場合

接続するテレビの D 映像入力端子（D1/D2/D3/D4）に合わせて「D 端子出力設定」をしてください。（☞ 27 ページ）

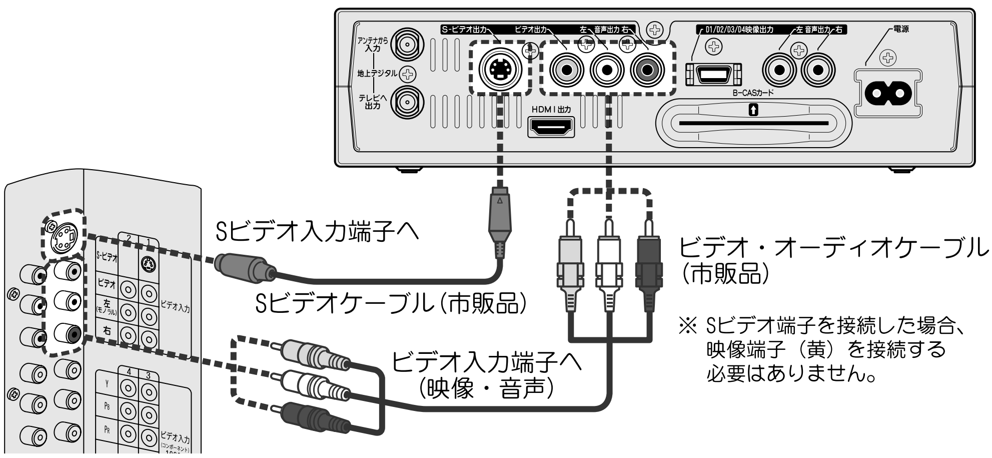


ご参考

● D 端子について

映像信号を輝度信号（白黒成分）と2種類の色信号（青：B-Y/赤：R-Y）に分離して伝送します。デジタルチューナーやDVDでは輝度信号と色信号を別々に記録してあるため、輝度信号と色信号を混合して伝送する通常のビデオ信号に比べ、色のにじみが少ないなど、高品位な伝送が可能です。また、同時に［4:3］や［16:9］の画面縦横比情報も伝送されます。

映像・音声入力端子付、S 映像入力端子付テレビの場合



ご参考

● S ビデオ端子について

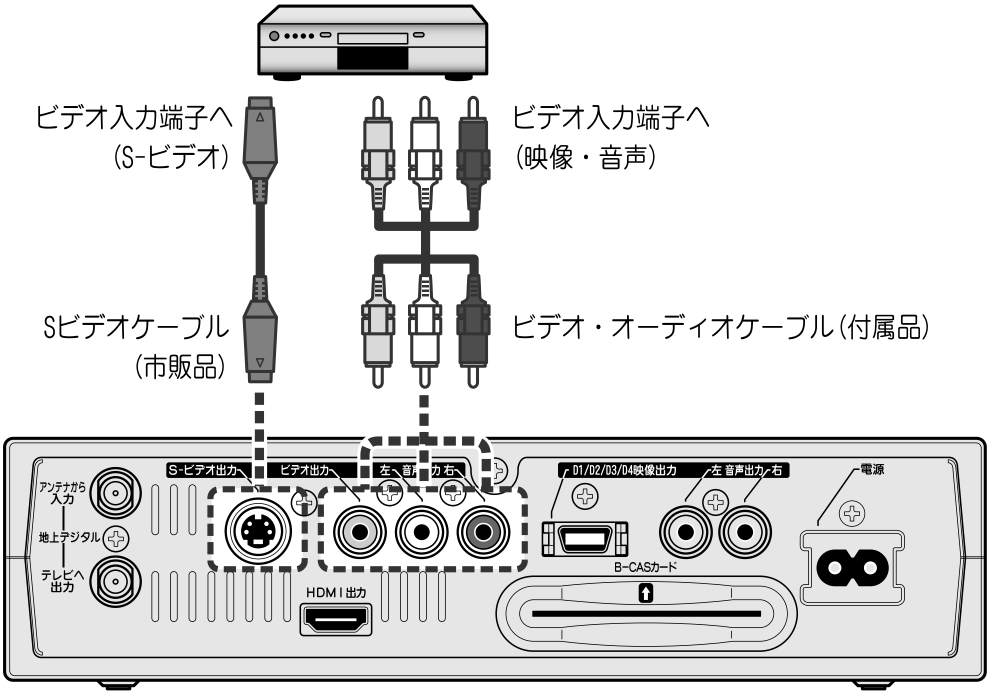
より鮮明な画質を得るために、映像信号を輝度（明るさ）と色に分離したものです。本機のビデオ出力はSビデオケーブルまたはビデオ・オーディオケーブルどちらも接続可能です。
音声はそれぞれの音声端子（左・右）に接続します。

ビデオや DVD レコーダーを接続する

他の外部機器を接続しない場合は、次の「B-CAS カードを挿入する」（☞ 24 ページ）へ進んでください。

ビデオや DVD レコーダーなどの録画機器を本機に直接つないで受信番組を録画する場合は、録画機器の入力端子に合わせて次のように接続してください。

本機の映像／音声出力端子とビデオの映像／音声入力端子を市販のビデオ・オーディオケーブルなどを使ってつないでください。



ご注意

- **録画中に本機の操作をしないでください。画面に表示される内容がそのまま録画されてしまいます。**
- 本製品は著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要であり、また、マクロビジョン社の許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、ビデオデッキを介してテレビに出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。
  著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とテレビを直接接続してお楽しみください。

B-CAS カードを挿入する

地上デジタル放送を視聴するには、本機に付属の B-CAS（ビーキャス）カードが必要です。

1 B-CAS カードを取り出します

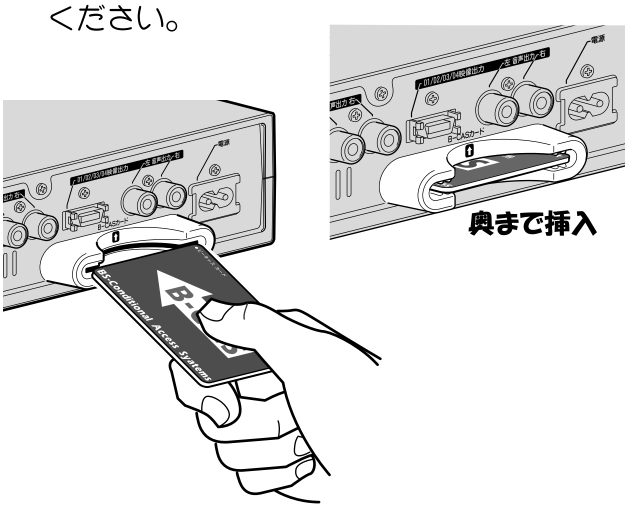
付属の B-CAS カードを台紙から取り出します。

B-CAS カードのパッケージを開封すると、パッケージに添付されている契約約款に同意したものとみなされます。開封前に必ず契約約款をお読みください。

2 B-CAS カードを挿入します

背面のスロットに付属の B-CAS カードを差し込みます。

図のように矢印のある印刷面を上側にし、矢印の先端を先にして奥まで挿入してください。



3 B-CAS カードの登録をします

B-CAS カードが貼ってあった台紙に記載された内容に従い、B-CAS カードの登録を行ってください。B-CAS カードの登録がなされていないと、視聴ができなかったり、画面に B-CAS カードを登録するよう表示が出たりします。

ご注意

- 本機付属のB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えると B-CAS カードは機能しません。
- B-CAS カードは奥まで挿入してください。
- ご使用中はB-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- 画面にエラーメッセージが表示される場合、B-CAS カードの交換が必要となる場合があります。詳しくは 53 ページをご覧ください。

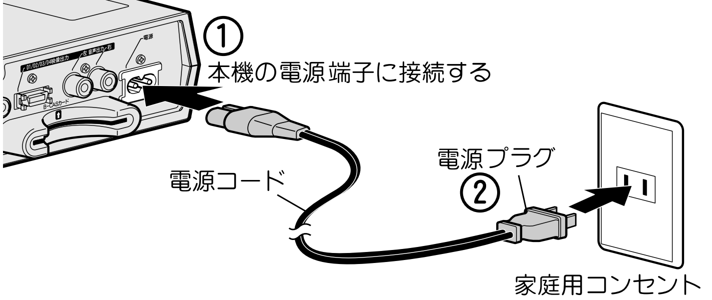
■B-CAS カード取り扱い上の注意点

- 折り曲げたり、変形させない。
- 重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- IC（集積回路）部には手をふれない。
- 分解加工は行わない。

電源コードを接続する

付属の電源コードを本機の電源端子に差し込み、電源プラグを家庭用コンセントに接続してください。前面の電源ランプが赤く点灯します。

必ず①、②の順に接続してください。



ご注意

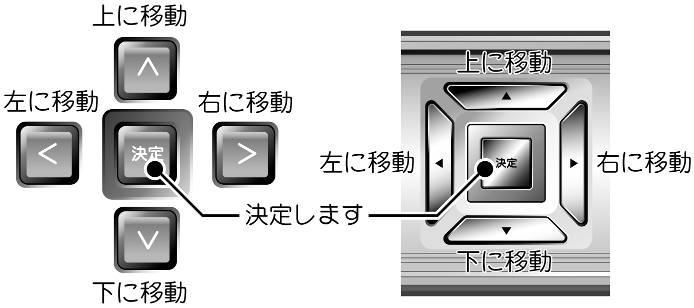
- 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを抜き差しするときは、必ずプラグ部分を持って行ってください。
- 電源コードを抜き差ししやすいように、コンセントの近くに設置してください。

初期設定をする

ご購入後はじめて本機の電源を入れると、自動的に初期設定画面になり、デジタル放送受信に必要な設定を順に行うことができます。

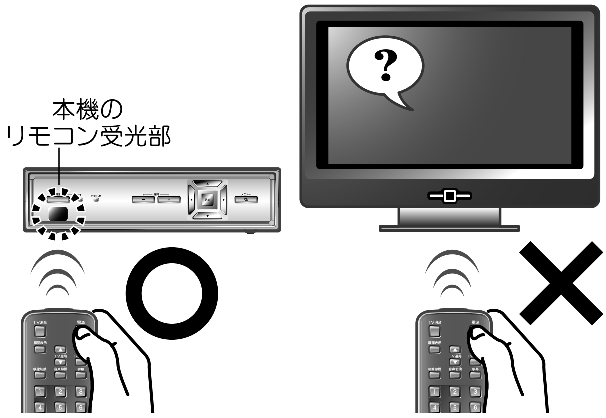
初期設定は付属のリモコンまたは本体ボタンで設定します

初期設定は [∧] [∨] [<] [>] **ボタン**で項目を選び、[決定] **ボタン**を押して決定します。
また、テレビ画面上には設定中に使用できるボタンがガイド表示されます。



リモコン操作時にご注意いただくこと

- 本機を初期設定するときは、リモコンを必ず本機のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 本機底面のリモコンコードスイッチはご購入時「1」に設定されています。リモコンのコードスイッチも「1」になっていることを確認してください。

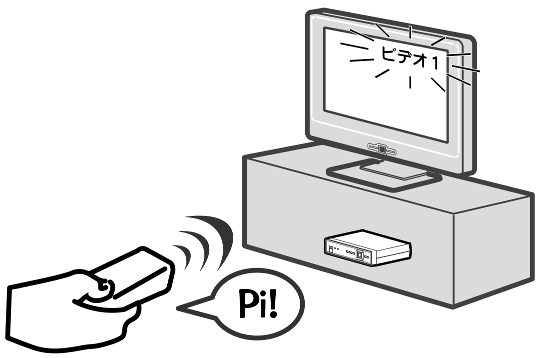


1 テレビの電源を入れ、入力を切り換えます

テレビの外部入力切換ボタンを押し、本機を接続した入力（☞ 21、22 ページ）に切り換えてください。

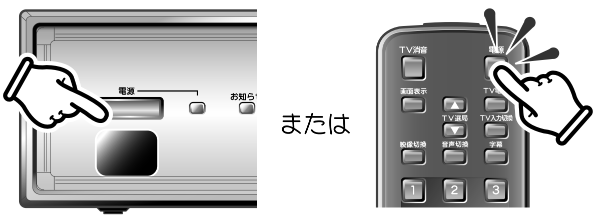
※お使いのテレビにより“ビデオ 1”や“外部入力 1”など呼びかたが違います。

※本機のリモコンでテレビの操作をするには初期設定完了後、TV メーカーコードの設定（☞ 30 ページ）を行ってください。



2 本機またはリモコンの電源ボタンを押し、本機の電源を入れます

電源が入り、「接続テレビ設定」画面が表示されます。



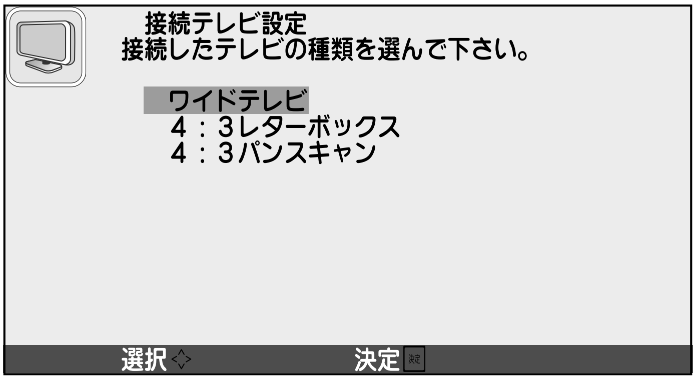
初期設定をする（つづき）

3 接続テレビ設定

接続したテレビの縦横比に合わせて
[∧] / [∨] **ボタン**で選択します。

ワイドテレビ
…ワイドテレビのとき





４：３レターボックス または **４：３パンスキャン**
…普通のテレビのとき



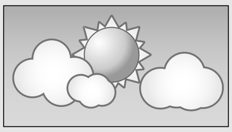
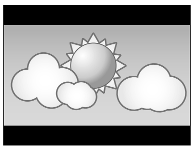
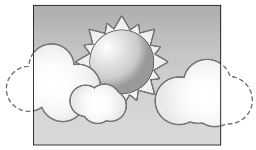
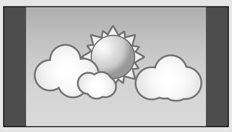
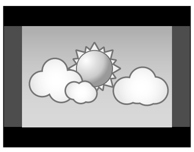
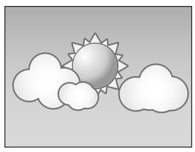
各設定による画面表示の違いについては
下の「ご参考」をご覧ください。

[決定] **ボタン**を押します。

- D 端子でテレビに接続した場合 ➡「D 端子出力設定」画面が表示されます。
- D 端子以外でテレビに接続した場合 ➡ 28ページの「自動チャンネル設定」画面が表示されます。

ご参考

「４：３レターボックス」「４：３パンスキャン」各設定による画面表示の例

元の映像	「４：３レターボックス」	「４：３パンスキャン」
 16:9 映像	 上下に帯が入って表示されます。	 縦いっぱいに表示されます。（ただし左右の一部がカットされます）
 左右に帯が入った 16:9 映像	 上下左右に帯が入って表示されます。	 画面いっぱいに表示されます。

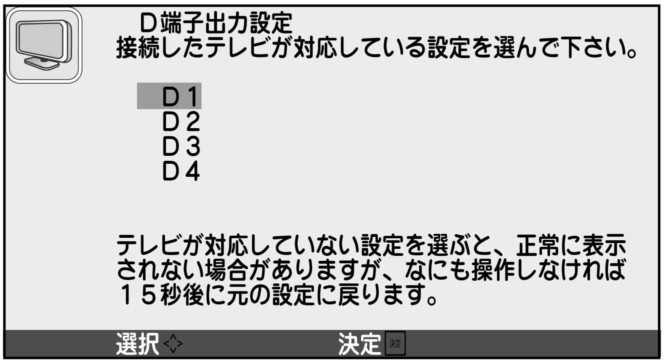
※元の映像が４：３映像の場合は、どちらの設定でも画面いっぱいに表示されます。

※４：３レターボックス・パンスキャンの設定はリモコンボタンでも切り換えできます（☞37 ページ）。
※この設定はメニュー画面（☞46 ページ）でも再設定できます。
※この画面が表示されない場合は、52 ページをご覧ください。

初期設定をする（つづき）

4 D 端子出力設定　※D 端子を使用しない場合は表示されません。

テレビの D 映像入力表示に合わせて
∧ / ∨ **ボタン**で D1/D2/D3/D4 の
中から選択します。

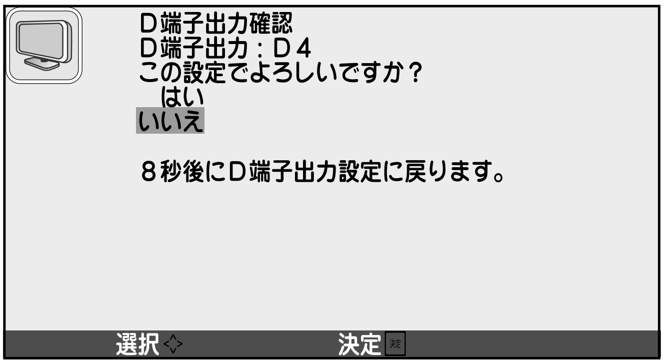


テレビの D 映像入力端子	テレビのコンポーネント映像入力端子（Y/PB/PR）	本機の設定
D1 映像のとき	480i の信号に対応のとき	D1
D2 映像のとき	480i、480p の信号に対応のとき	D2
D3 映像のとき	480i、480p、1080i の信号に対応のとき	D3
D4 映像のとき	480i、480p、1080i、720p の信号に対応のとき	D4

※この設定はメニュー画面（☞46 ページ）でも再設定できます。
※この画面が表示されない場合は、52 ページをご覧ください。

決定 **ボタン**を押すと、テレビが正しく映るか確認する画面になります。
正しく映らない場合は、テレビの取扱説明書を参照して再度 D 端子出力フォーマットの設定を行ってください。

「はい」を選んで 決定 **ボタン**を押すと
「自動チャンネル設定」画面が表示されます。



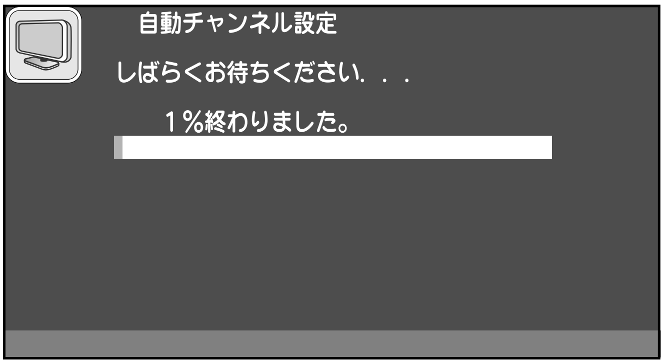
※「いいえ」を選んで 決定 **ボタン**を押すと
D 端子出力設定画面に戻りますので、
再度設定を行ってください。

※この設定はメニュー画面（☞46 ページ）
でも再設定できます。

初期設定をする（つづき）

5 自動チャンネル設定

受信チャンネルの自動設定プログラムがスタートし、画面には現在処理中の状態がグラフ表示されます。



自動チャンネル設定が終了すると、自動的にデジタル放送受信状態になり、画面には数字ボタン「1」に割り当てられたチャンネルが表示されます。

ご注意

- 受信状態が悪いと、本来受信できる放送局も受信できない場合があります（☞20 ページ）。
- アンテナが地上デジタル放送に対応している必要があります（☞20 ページ）。
- 画面が表示されない場合は、52 ページをご覧ください。

初期設定をする（つづき）

自動チャンネル割り当てについて

初期設定終了後、本機の選局ポジション（1 ～ 20）には、地上デジタル放送受信結果が設定されます。

設定される内容は、お住まいの地域に対応した放送局名となります。

例

北海道(札幌)

選局ポジション	放送局名
1	HBC札幌
2	NHK教育・札幌
3	NHK総合・札幌
4	放送なし(割り当てなし)
5	STV札幌

※ 上記は受信状態の一例です。
お住まいの地域や設定時の電波の強弱などの
諸条件によって受信結果が異なる場合があります。

東　京

選局ポジション	放送局名
1	NHK総合・東京
2	NHK教育・東京
3	放送なし（割り当てなし）
4	日本テレビ
5	テレビ朝日
6	TBS
7	テレビ東京
8	フジテレビジョン
9	放送なし(割り当てなし)
10	放送なし(割り当てなし)
11	放送なし(割り当てなし)
12	放送なし(割り当てなし)

ご注意

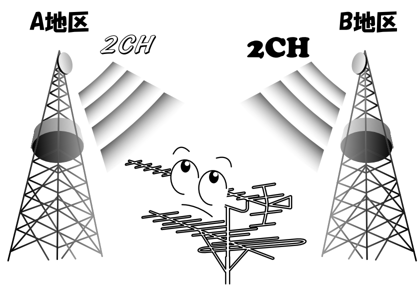
チャンネルが自動登録されないときは…

- アンテナが地上デジタル放送に対応していないことが考えられます。
詳しくは「地上デジタル放送が受信できないときは」(☞51 ページ）をご覧ください。

※受信チャンネルの自動設定プログラムは、お買い上げ後最初に本機の電源を「オン」にすると自動スタートしますが、チャンネル設定メニュー（☞43 ページ）で自動または手動設定することもできます。また、手動チャンネル設定画面で現在どのように設定されているかも確認できます。チャンネル自動設定完了前にテレビの電源を「オフ」にした場合は、次回「オン」にしたとき、再度初期設定画面を表示します。

ご参考

- お住まいの地域によっては他地域の地上デジタル放送局の電波が受信できる場合があります。
割り当てる選局ボタンが同じ、複数の局を受信した場合、1 局以外はボタン表示されません。
ボタン割り当て変更設定（☞44 ページ）でボタンの割り当てを行ってください。



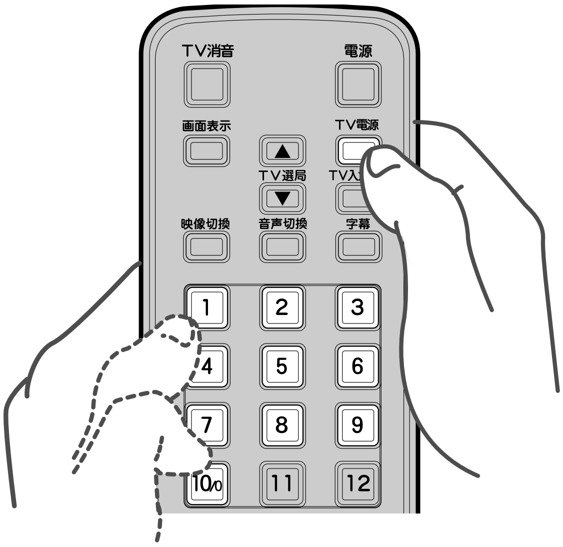
準備する

TVメーカーコードを設定する

本機のリモコンでテレビを操作する

TV メーカーコードの設定を行うと、本機のリモコンを使って接続したテレビを操作することができます。

メーカーコード設定のしかた



1 **リモコンの TV 電源ボタンを押しながら、**

2 **ご使用のテレビに合ったメーカーコードを押します**

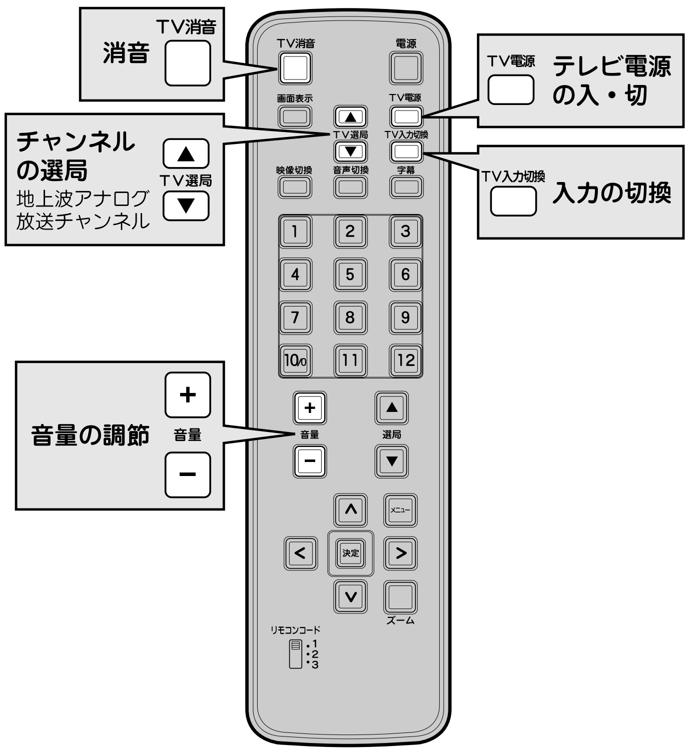
メーカー	メーカーコード
ユニデン	10/0 10/0
シャープ 1	10/0 1
シャープ 2	10/0 2
シャープ 3	10/0 3
ソニー	10/0 4
東芝	10/0 5
日立	10/0 6
松下 1	10/0 7
松下 2	10/0 8
ビクター	10/0 9
三菱 1	1 10/0
三菱 2	1 1
パイオニア	1 2
三洋 1	1 3
三洋 2	1 4
アイワ 1※	1 5
アイワ 2※	1 6
フナイ	1 7

※ アイワ製テレビをお使いで、上記のメーカーコードがいずれも有効でない場合は、メーカーコード 10/0 4 もお試しください。
※ 上記メーカーのテレビでも、機種によっては対応できない場合がございます。

3 **TV 電源ボタンを離します**

設定後は TV 電源ボタンを押してテレビの電源がオン・オフできるか確認してください。

下記のボタン操作時は、ご使用の**テレビの**リモコン受光部に向けて操作してください。
（本機のリモコン受信部に向けて操作しても動作しません。）

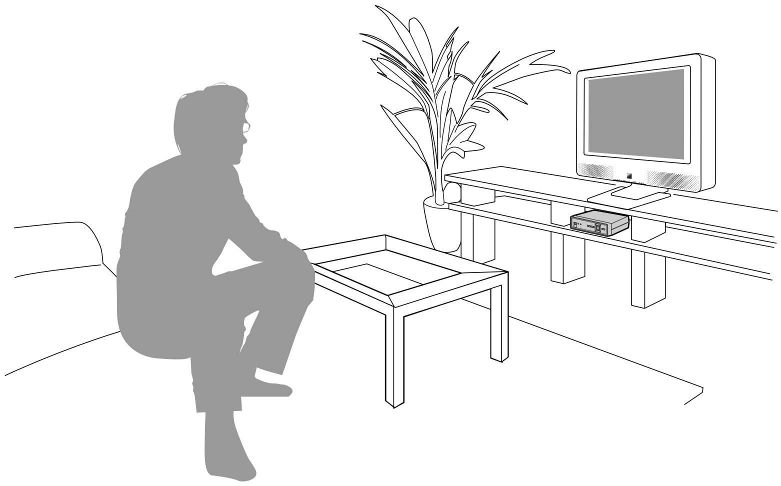


準備する

3

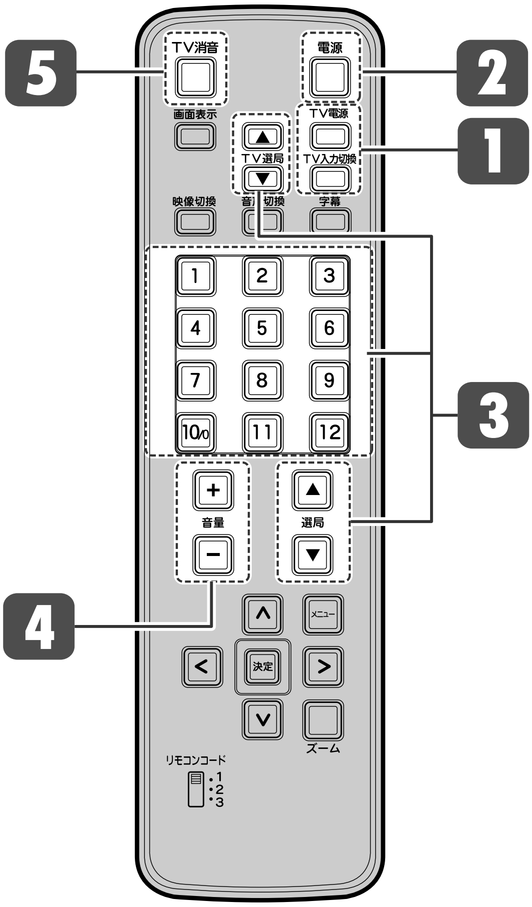
第 3 章

地上デジタル放送を見る



番組を見る

通常の操作はリモコンで行います。
本機前面に同種のボタンがある場合は、
同じように操作できます。



1 テレビの電源を入れ、入力を切り換えます

例えば、テレビの「ビデオ 1」端子に接続しているときは、テレビの画面に「ビデオ 1」と表示されるように、入力を切り換えてください。

※TV メーカーコード設定（☞ 30 ページ）をすれば、付属リモコンからテレビ電源のオン・オフ、入力切換などの簡単なテレビ操作ができます。

2 本機の電源を入れます

リモコンの 電源 ボタンまたは本機の **電源ボタン**を押します。前面の電源ランプが赤から緑点灯になり、電源が入ります。

3 チャンネルを選びます

地上デジタル放送を見る

- **数字ボタン（ 1 ～ 12 ）**で選ぶ
  見たい放送局の番号を押します。
- **選局（ ▲ / ▼ ）ボタン**で選ぶ
  押すごとにチャンネルが変わります。
  押し続けると順送りでチャンネルを変えられます。

ご参考

- 地上デジタル放送ではサブチャンネルでの放送が行われていることがあります。
  数字ボタンを繰り返し押すと、サブチャンネルを選択できます（サブチャンネルでの放送がある場合のみ）。
  例：2を1回 ⇒ 2₁（サブチャンネル1）
  　　2を2回 ⇒ 2₂（サブチャンネル2）
  　　2を3回 ⇒ 2₃（サブチャンネル3）

地上アナログ放送を見る

TV 選局（ ▲ / ▼ ）ボタンを押すごとに順送りでチャンネルが変わります。

※テレビのアンテナ入力端子に地上アナログ放送用のアンテナケーブルが接続され、かつテレビが正しく設定されている必要があります。

4 音量を調節します

音量（ ＋ / － ）ボタンで音量を調節します。

5 音を一時的に消します

TV消音 **ボタン**を押します。
もう一度 TV消音 **ボタン**を押すと、元の音量に戻ります。

6 電源を切ります

リモコンの 電源 **ボタン**、または本機の **電源ボタン**を押すと電源待機（スタンバイ）状態となり、電源ランプが赤点灯します。

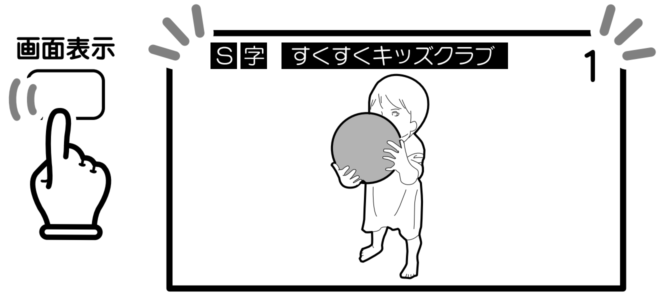
チャンネル番号などを表示する（画面表示）

画面表示ボタンを押すと、現在受信中の番組情報・チャンネル番号が表示されます。



画面表示 ボタンを押します

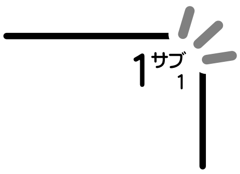
受信中のチャンネル番号や番組名などの情報が表示されます。



もう一度 画面表示 **ボタン**を押すと画面左上の表示が消え、さらにもう一度押すと画面右上のチャンネル番号表示が消えます。

ご参考

- サブチャンネル放送がある場合、代表チャンネル番号の横にサブチャンネル番号が表示されます。



ご参考

画面表示のみかた

画面左上に表示される情報として、次のものが表示されることがあります。

S	ステレオ放送番組	二	二ヶ国語放送番組
SS	サラウンド放送番組	解	解説音声付番組
字	字幕放送番組		

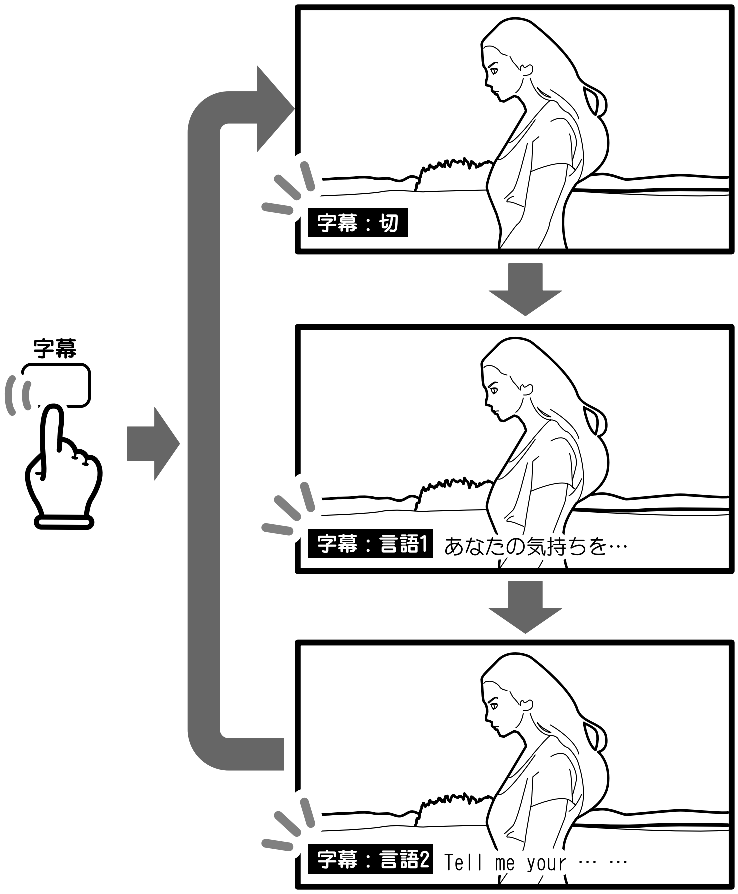
字幕を表示する（字幕）

映画やドラマなどの字幕を表示したり、消したりできます。



放送視聴中に
字幕 ボタンを押します

押すたびに切、言語 1、言語 2 と切り換わります。



ご参考

- 字幕がない番組の場合は、画面左下に



と表示されます。

お知らせ

- 「言語 1」「言語 2」の表示は番組情報に依存します。
- 放送局側で字幕表示を消せない設定にしている番組もあります。
- メニュー画面で初期設定値を変更することができます。（☞ 47 ページ）

地上デジタル放送を見る

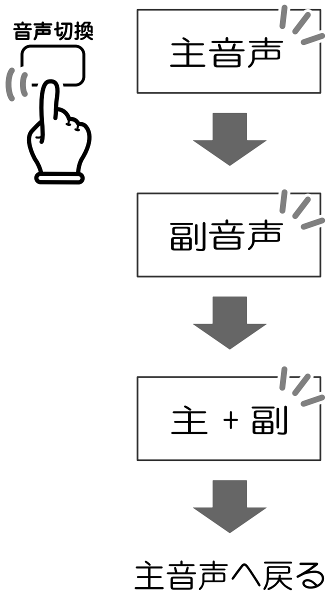
▌二ヶ国語音声を選ぶ（音声切換）

日本語と英語など二ヶ国語放送の場合、音声（主・副）を切り換えることができます。



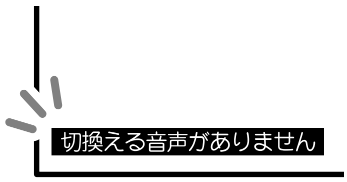
音声切換 ボタンを押します

チャンネル番号、音声（主音声・副音声・主＋副）が画面右上に表示されます。
ボタンを押すたびに「主音声」「副音声」「主＋副」の順に切り換わります。



ご参考

- 切り換える音声がない場合は、画面左下に



と表示されます。

お知らせ

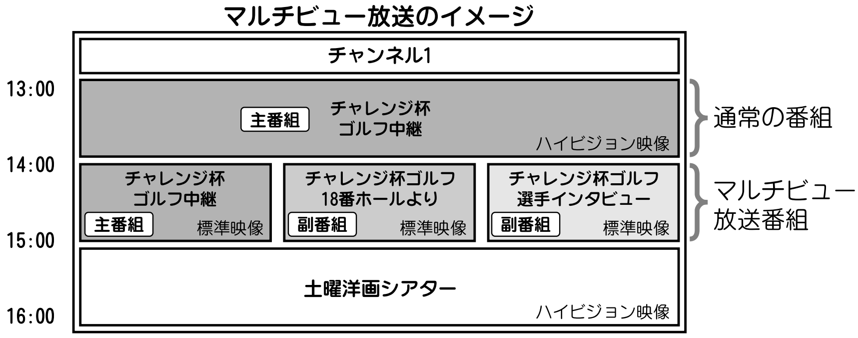
- 主＋副にすると、左スピーカーから主音声、右スピーカーからは副音声が出力されます。
- 「主音声」「副音声」「主＋副」の表示は放送局側からの番組情報に依存します。
- メニュー画面で初期設定値を変更することができます。（☞ 47 ページ）

マルチビュー放送を見る（映像切換）

お知らせ

- マルチビュー放送とは
  ひとつのチャンネル内で主番組・副番組の複数映像が送られる放送です（最大3チャンネル）。
  たとえばゴルフ中継など、主番組では通常の放送、副番組ではそれぞれ18番ホールの映像と、ホールアウトした選手のインタビュー映像を放送をするなど、視聴者が見たい場面を選択して見ることができる放送が行われる予定です。
  （2007年1月現在、マルチビュー放送は行われていません。）

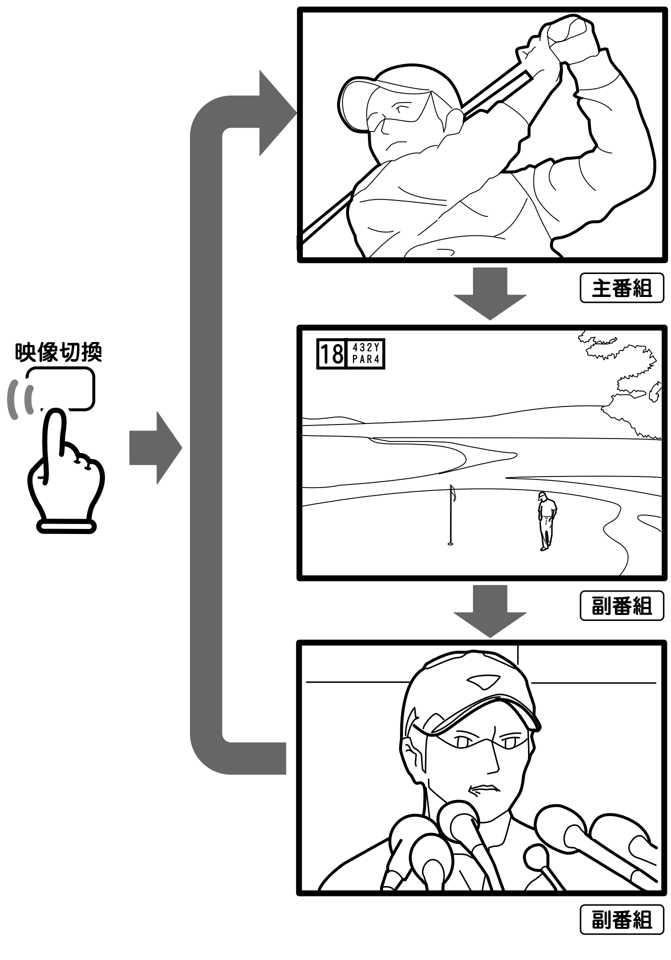
マルチビュー放送のイメージ





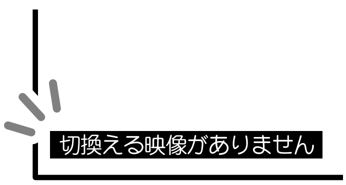
映像切換 ボタンを押します

ボタンを押すたびに、同一チャンネル内での放送が切り換わります。



ご参考

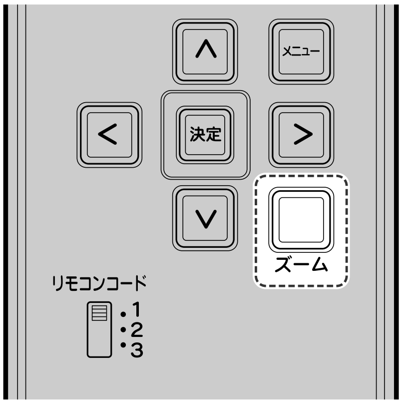
- 切り換える映像がない場合は、画面左下に



と表示されます。

ズーム画面表示にする（ズーム）

表示画面をズーム（拡大）表示することができます。



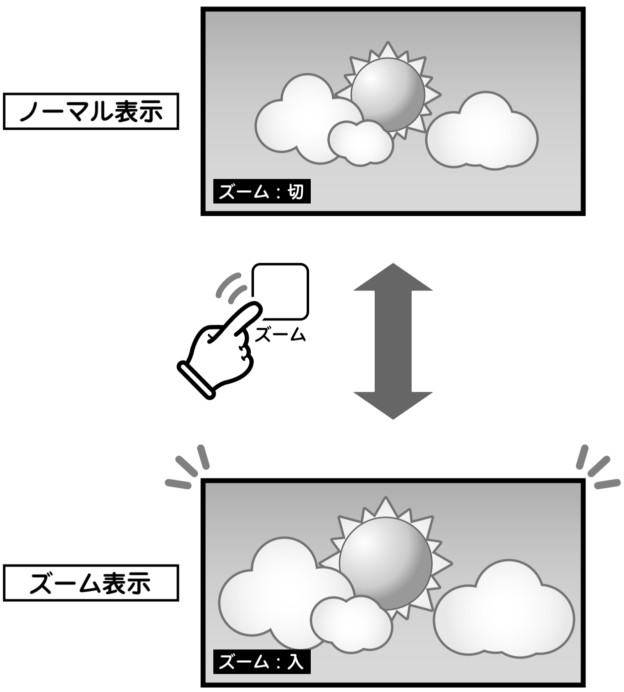
ズーム ボタンを押します

ご参考

- ズーム表示はチャンネルを変えたり、電源を切るとノーマル表示に戻ります。

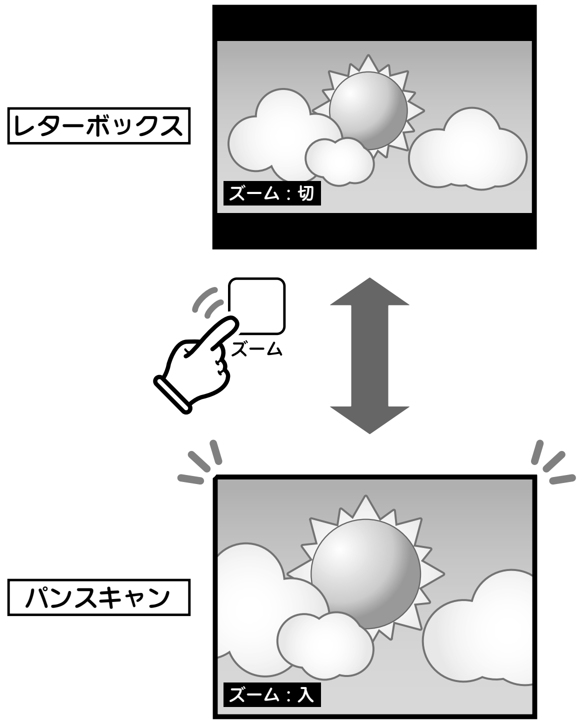
接続テレビ設定が「ワイドテレビ」設定の場合

ボタンを押すたびに、画面がノーマル表示、ズーム表示に切り換わります。



接続テレビ設定が「4：3 レターボックス」・「4：3 パンスキャン」設定の場合

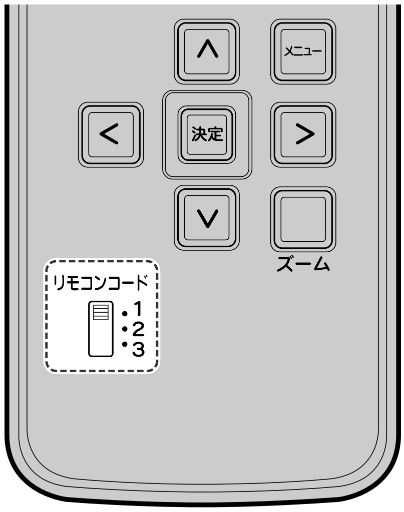
ボタンを押すたびに、画面がレターボックス表示・パンスキャン表示に切り換わります。

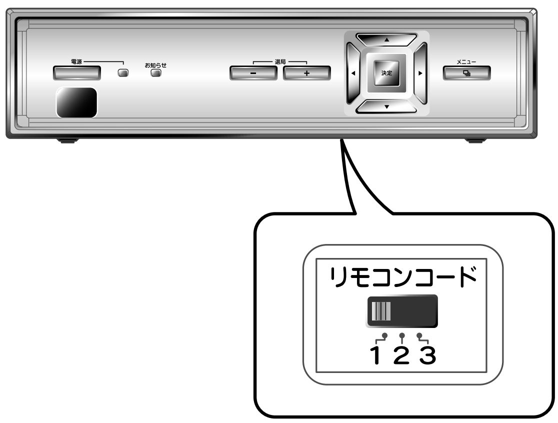


※接続テレビ設定はメニュー画面（☞ 46 ページ）でも再設定できます。

リモコンコードを設定する

本機を同じ部屋に複数台設置される場合には、リモコン信号の混信による誤動作を防ぐため、それぞれの機器に異なるリモコンコードを設定してください。





ご参考

- 本体およびリモコンの各リモコンコードスイッチは出荷時「1」に設定されています。

1 リモコン下部にあるリモコンコードスイッチを設定します

1・2・3 のいずれかに切り換えます。

2 本機底面にあるリモコンコードスイッチを設定します

1・2・3 のいずれか（リモコンと同じ番号）に切り換えます。

ご注意

- リモコンと操作したい機器のリモコンコードスイッチは必ず同じ番号に合わせてください。

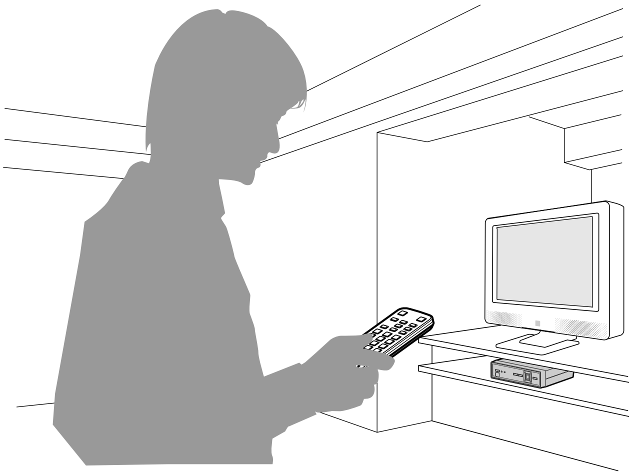
3 設定を確認します

リモコンの［電源］**ボタン**を押して、本機の電源がオン・オフできることを確認してください。

4

第４章

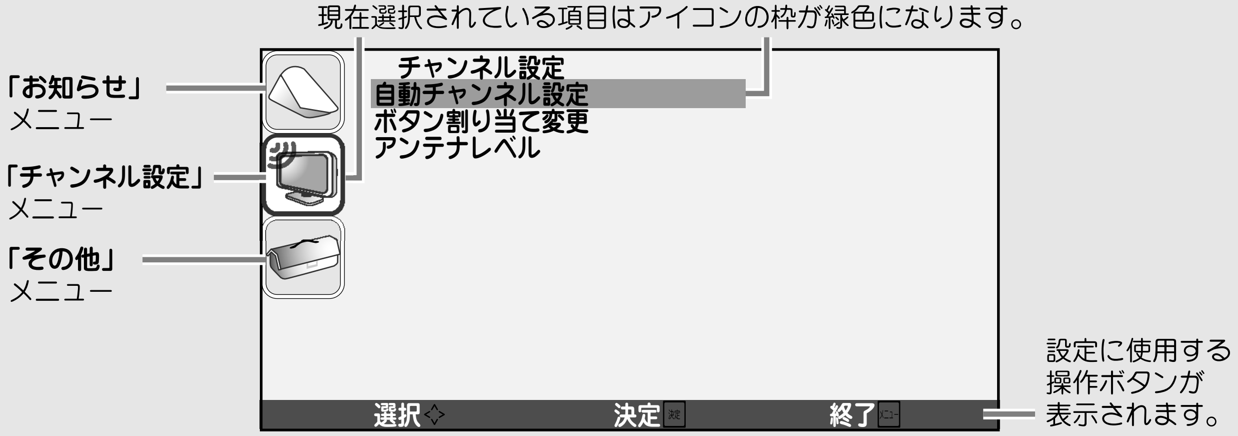
各種設定のしかた



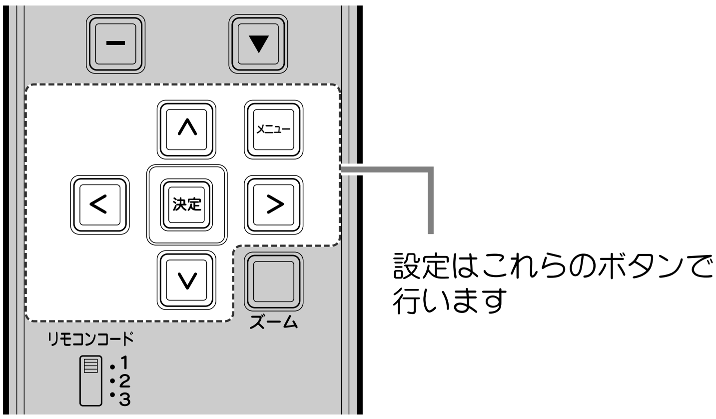
各種設定のしかた（メニュー）

- メニュー ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。再度押すと元の画面に戻ります。
- メニュー画面では、チャンネル設定や出力端子のフォーマット設定などの各種設定ができます。
  （☞41 ページ）
- 項目設定後、初期（工場出荷時）状態に戻したいときは、設定初期化を行ってください。
  （☞48 ページ）
- 何もしない状態が約 60 秒間続くと画面表示は消えます。メニューボタンを押すと再度表示されます。

メニュー画面のみかた



※画面は「チャンネル設定」メニューを選択した状態です。



1 メニュー **ボタン**を押し、メニューを表示させます。

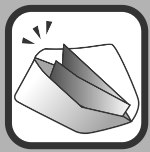
2 ∧ / ∨ **ボタン**を押し、設定したい第1階層のメニューを選択します。選択されている項目はアイコンの枠が緑色になります。
選択中は右の枠内にそのメニューで設定できる第 2 階層のサブメニューが表示されます。
決定 **ボタン**を押すと第 2 階層のサブメニューへ移り、選択項目がハイライト（緑色）されます。

3 ∧ / ∨ **ボタン**で選択項目のハイライト（緑色）を動かし、第 2 階層のサブメニューを選択します。

4 < / >（または ∧ / ∨ ）**ボタン**で第 3 階層の設定値を変更します。

5 決定 **ボタン**を押し、設定を完了させます。
各設定項目は次頁のメニュー一覧表をご覧ください。各設定項目はすべて同様の方法で設定が行えます。

メニュー一覧表

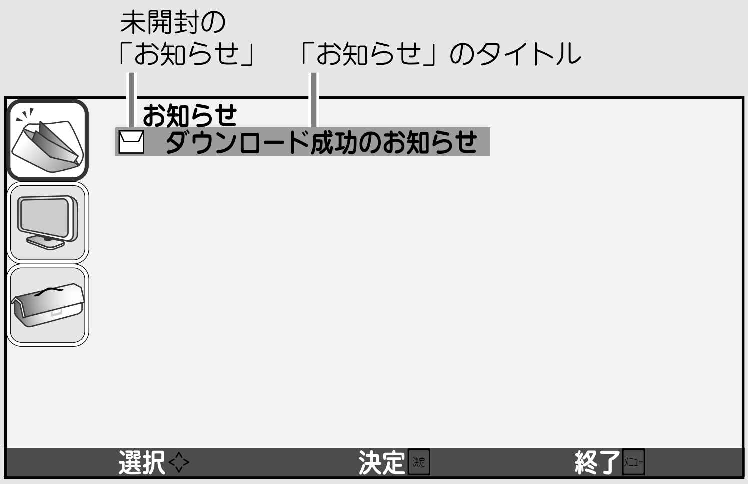
第1階層（メニュー）	第2階層（サブメニュー）	第3階層
お知らせ（40ページ）	リスト（未読・タイトル）表示	詳細表示
		
チャンネル設定（41ページ）	**●チャンネル設定メニュー**	
	自動チャンネル設定	「はい」「いいえ」
	ボタン割り当て変更	チャンネル設定リスト
	アンテナレベル	受信電波のレベル表示
その他（44, 45ページ）	**●その他メニュー**	
	接続テレビ設定	「ワイドテレビ」 「4：3レターボックス」 「4：3パンスキャン」
	D端子出力設定	「D1/480i固定」 「D2」「D3」「D4」 「480p固定」「1080i固定」 「720p固定」
	HDMI端子出力設定	「自動」 「480i固定」「480p固定」 「1080i固定」「720p固定」
	二ヶ国語放送設定	「主音声」「副音声」「主/副」
	字幕設定	「切」「言語1」「言語2」
	文字スーパー設定	「切」「言語1」「言語2」
	D3/D4縦横比設定	「16：9固定」「4：3有効」
	B-CASカードID番号	
	バージョン	
	設定初期化	「はい」「いいえ」

※接続条件によっては選択できない項目があります。

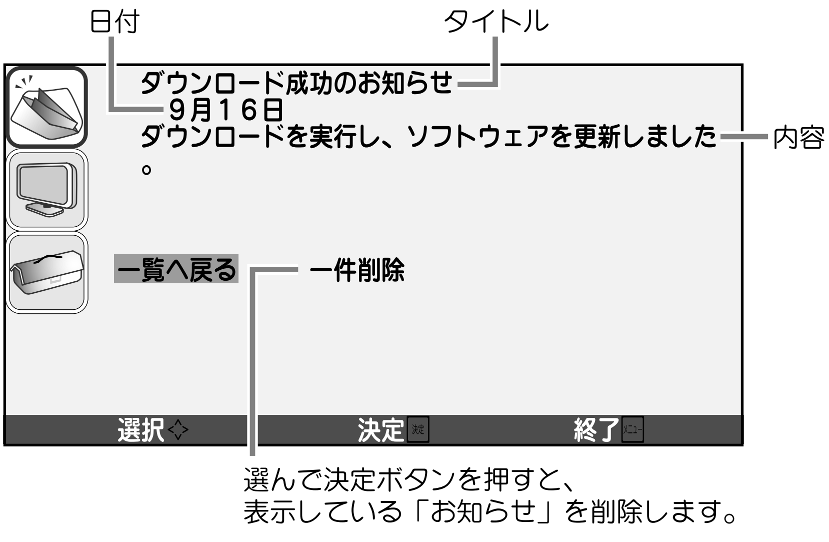
お知らせ

第 1 階層のメニュー画面で 「お知らせ」を [∧] / [∨] **ボタン**で選び、[決定] **ボタン**を押します。
画面右側には第 2 階層のサブメニュー（リスト）が表示されます。
※お知らせが 1 件もない場合は「お知らせはありません」と表示されます。

お知らせメニュー画面



サブメニューから [∧] / [∨] **ボタン**で表示したい項目を選択し、[決定] **ボタン**を押すとその詳細が表示されます。



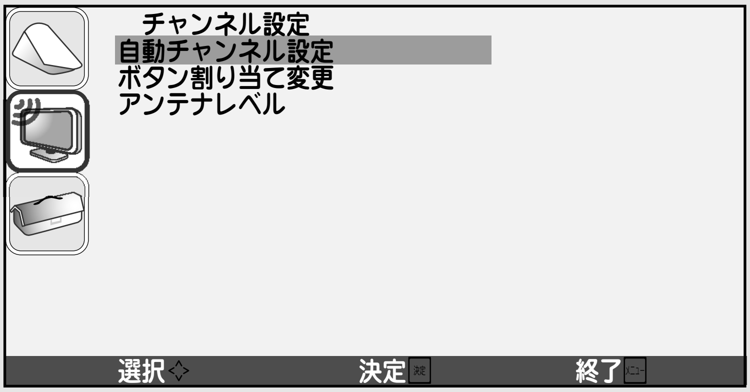
ご注意

- お知らせは最大 7 件まで保存されます。7 件を超えて新たに受信した場合は、一番古いお知らせから削除されます。

チャンネル設定

第 1 階層のメニュー画面で「チャンネル設定」を [∧] / [∨] **ボタン**で選び、[決定] **ボタン**を押します。
画面右側には第 2 階層のサブメニューが表示されます。

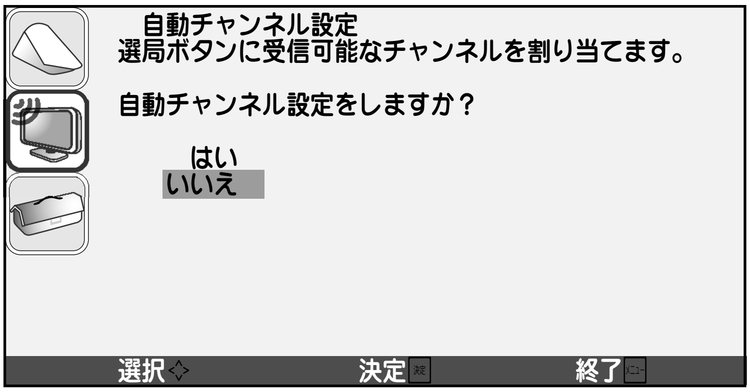
チャンネル設定メニュー画面



自動チャンネル設定

自動チャンネル設定は「初期設定をする」（☞28 ページ）で完了していますが、引越し等で
受信チャンネルの変更が必要な場合は、下記の要領で自動チャンネル設定を行ってください。

チャンネル設定のサブメニューで「自動チャンネル設定」を選択すると以下のメッセージが表示され、
自動チャンネル設定の実行・中止を選択できます。画面は最初、「いいえ」が選択されています。
[∧] / [∨] **ボタン**で「はい」を選択し、[決定] **ボタン**を押すと受信チャンネルの自動スキャンを開始
します。

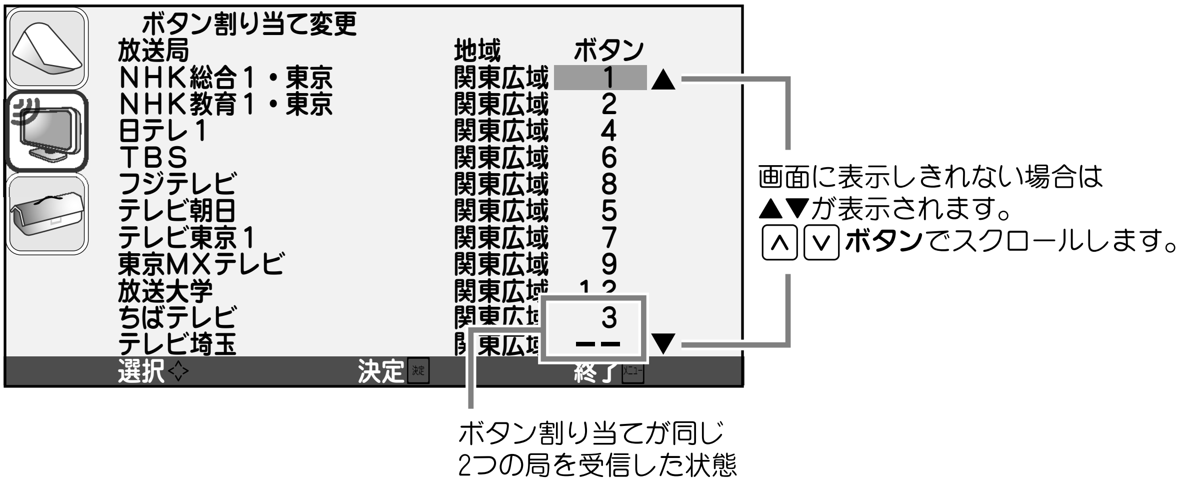


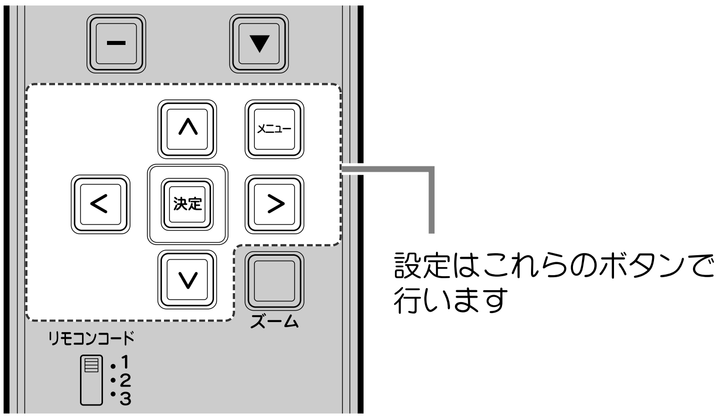
※自動チャンネル設定については、「初期設定をする」（☞28 ページ）をご覧ください。

チャンネル設定（つづき）

ボタン割り当て変更設定

自動チャンネル設定により、ボタン割り当てが同じ複数の局を受信した場合、うち１局はボタン表示部分にーーと表示され、選局することができません。空いている任意のボタン数字を設定して、受信した各チャンネルにボタンを割り当て、選局できるようにします。また、割り当てられているボタン数字を変更する場合にも以下の操作を行います。





1 チャンネル設定のサブメニューで「ボタン割り当て変更」を選び、
［決定］ **ボタン**を押します。

2 ［∧］/［∨］ **ボタン**で
変更したい放送局を選び、
［決定］ **ボタン**を押します。

3 ［∧］/［∨］ **ボタン**で
空いている数字を選びます。

4 ［決定］ **ボタン**を押し、
設定を完了させます。

5 さらにボタン割り当て変更を続ける場合、
2 ～ **4** を繰り返します。

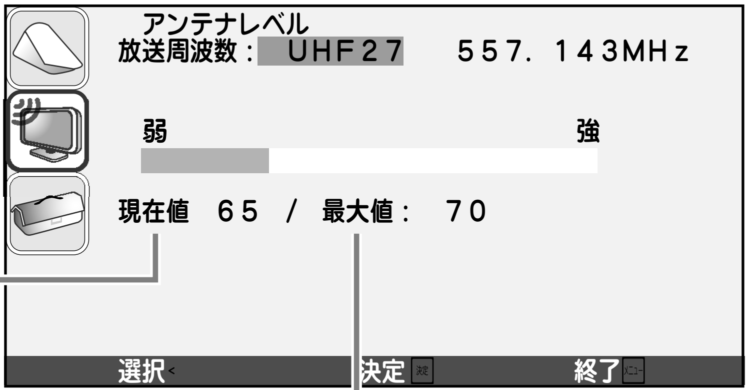
6 ［メニュー］ **ボタン**を押し、
メニューを終了させます。

各種設定のしかた

チャンネル設定（つづき）

アンテナレベル

チャンネル設定サブメニューで「アンテナレベル」を選択すると、下記の画面が表示されます。
現在ご覧になっているチャンネルのアンテナが受信している電波強度を確認することができます。



現在のアンテナ受信レベル

これまでに本機が受信したアンテナ受信レベルの最大値

受信レベルを確認するだけで数値の変更はできません。
数値が極端に低く、画質が悪いときは、アンテナの向きを変更するなど設置条件を変更してください（☞20 ページ）。

電波が受信できない場合は、表示画面下側に以下のように表示されます。

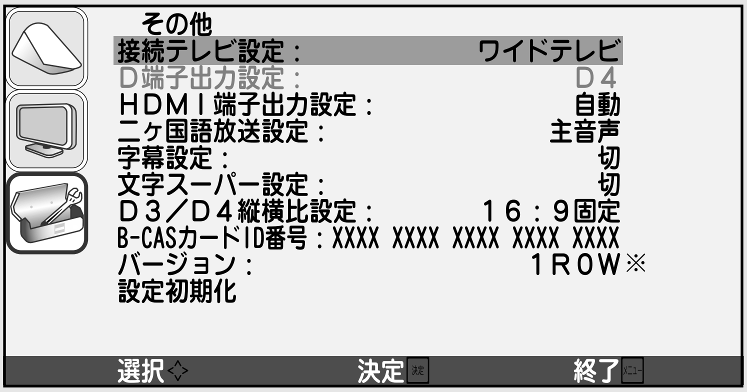


受信電波レベルが不十分な場合に表示されます。

その他の設定

第 1 階層のメニュー画面で「その他」を ∧ / ∨ **ボタン**で選び、決定 **ボタン**を押します。
画面右側には第 2 階層のサブメニューが表示されます。∧ / ∨ **ボタン**でサブメニューを選び、決定 **ボタン**を押します。

その他の設定メニュー画面



※ソフトウェアは自動更新されます。
表示されるバージョン名はソフトウェアにより異なります。

接続テレビ設定

接続するテレビに合わせて設定します。

※設定の詳細については、「初期設定をする」（☞26 ページ）をご覧ください。

∧ / ∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

D 端子出力設定

接続するテレビに合わせて設定します。

- D1/D2/D3/D4：
  「初期設定をする」（☞27 ページ）をご覧ください。
- 480p/1080i/720p：
  それぞれの仕様に対応した映像フォーマットで出力します。

∧ / ∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

その他の設定（つづき）

HDMI 端子出力設定

HDMI 端子を使用の場合、次のように設定できます。

・自動：
　接続されているテレビに最適なフォーマットで
　出力します。
・480i/480p/1080i/720p：
　それぞれの仕様に対応した映像フォーマットで
　出力します。

[∧] / [∨] **ボタン**で選択し、[決定] **ボタン**で
設定します。

字幕設定

字幕表示の設定を行います。

・切：　　　表示しません。
・言語 1：　言語 1 を表示します。
・言語 2：　言語 2 を表示します。

[∧] / [∨] **ボタン**で選択し、[決定] **ボタン**で
設定します。

D3 ／ D4 縦横比設定

D3、D4 出力時の画面の縦横比を設定します。

・16:9 固定：
　接続テレビ設定（☞26 ページ）の設定内容に
　かかわらず、常に 16:9 で出力されます。
・4:3 有効：
　接続テレビ設定の設定内容に応じて
　縦横比が切り替わります。

[∧] / [∨] **ボタン**で選択し、[決定] **ボタン**で
設定します。

二ヶ国語放送設定

音声モードの切換設定を行います。

・主音声：　　主音声を出力します。
・副音声：　　副音声を出力します。
・主 / 副音声：主＋副音声を出力します。

[∧] / [∨] **ボタン**で選択し、[決定] **ボタン**で
設定します。

文字スーパー設定

文字スーパーの表示設定を行います。

・切：　　　表示しません。
・言語 1：　言語 1 を表示します。
・言語 2：　言語 2 を表示します。

[∧] / [∨] **ボタン**で選択し、[決定] **ボタン**で
設定します。

B-CAS カード ID 番号

B-CAS カード ID 番号を表示します。

バージョン

ソフトウェアのバージョンを表示します。

その他の設定（つづき）

設定初期化（工場出荷設定）

本機の設定を工場出荷時の状態に戻すためには以下の操作を行ってください。

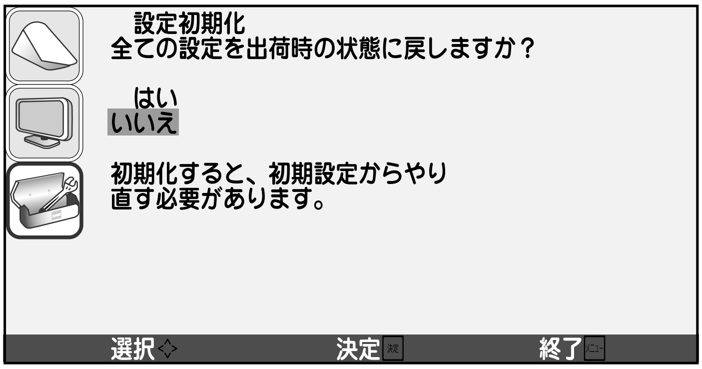
ご注意

- 初期化中は、絶対に電源プラグを抜かないでください。
- 初期化中はすべてのボタン操作ができません。

1 第 1 階層のメニュー画面で「その他」を［∧］/［∨］ボタンで選び、［決定］ボタンを押します。
画面右側には第 2 階層のサブメニューが表示されます。

2 ［∧］/［∨］**ボタン**を押し、
「設定初期化」を選択します。

3 ［決定］**ボタン**を押すと、設定初期化画面が表示されます。



4 ［∧］/［∨］**ボタン**で「はい」を選択し、
［決定］ボタンを押すと初期化を開始します。

初期化が完了すると、初期設定メニュー画面（☞26 ページ）が表示されます。

5

第 5 章

ご参考



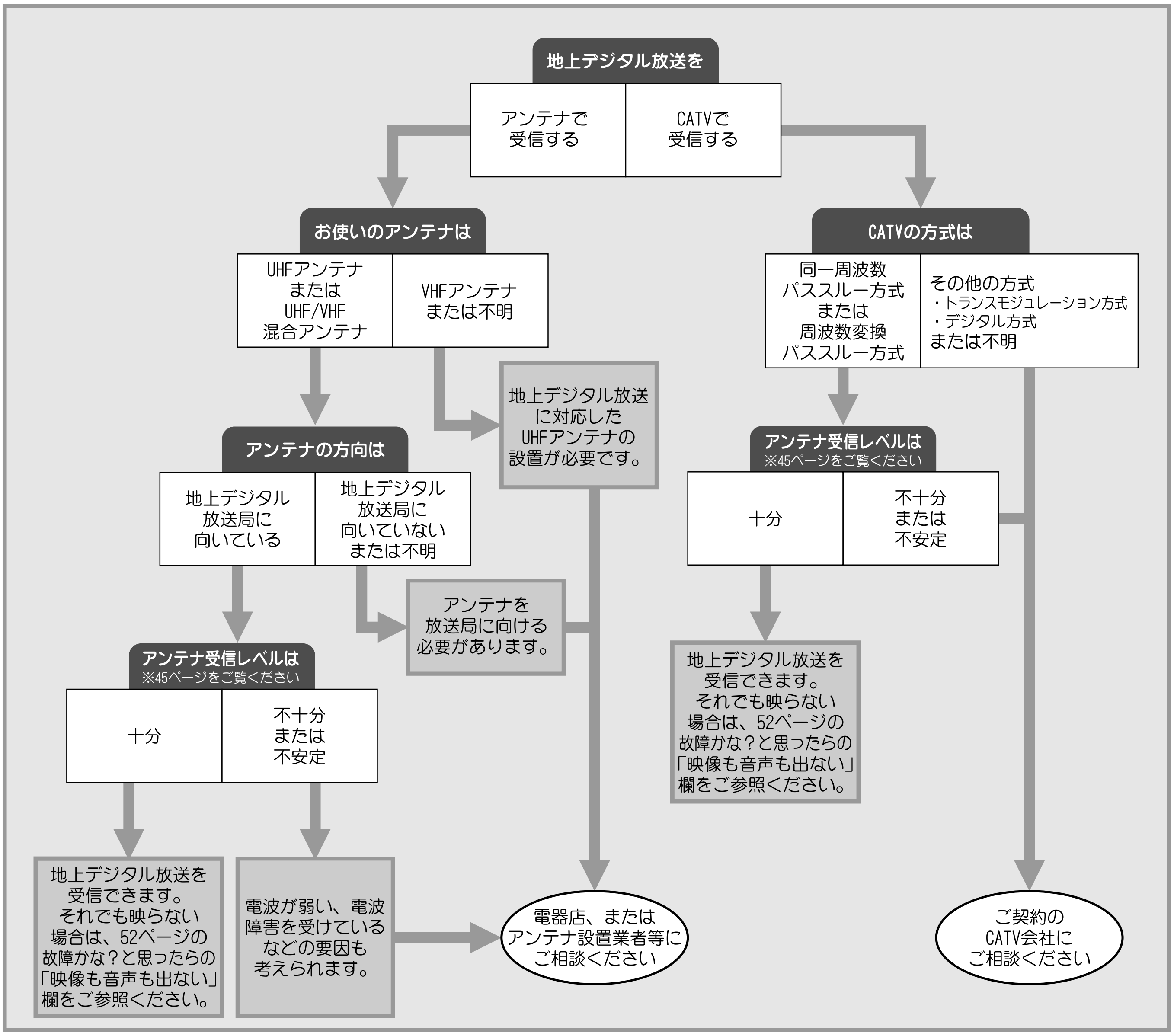
おもな仕様

品名		ハイビジョン対応地上デジタルチューナー
型番		DT100-HDMI
本体寸法： 幅×高さ×奥行		23.4cm × 5.9cm × 16.4cm
本体質量		約 750g
使用電源		AC100V 50Hz/60Hz
使用温度		0℃～＋ 40℃
消費電力 / 待機時消費電力		11W / 6W
放送	放送方式	地上デジタル放送方式（日本）
	チューナー	地上デジタルチューナー × 1
	チャンネル	地上波（UHF）：13ch ～ 62ch、CATV：1ch ～ 63ch （CATV の場合、同一周波数パススルー方式および周波数変換パススルー方式に対応）
入出力端子	アンテナ入力端子	1 系統
	アンテナ出力端子	1 系統
	S ビデオ出力端子	1 系統
	ビデオ出力端子	1 系統
	音声出力端子	2 系統
	D1/D2/D3/D4 ビデオ出力端子	1 系統
	HDMI 出力端子	1 系統
付属品	リモコン	●（1 個）
	リモコン用乾電池	●（単 4 型乾電池 2 個）
	B-CAS カード	●（1 枚）
	電源コード	●（1 本）
	取扱説明書	●（1 冊）
	AV ケーブル	●（1 本）
	アンテナケーブル	●（1 本）

- 仕様、外観などは改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機のメニュー画面や画面で表示されるフォントとして、株式会社リコーが製作したリコービットマップフォントを使用しています。
- 識別表示及び電源定格表示は本機の底面に記載してあります。

地上デジタル放送が受信できないときは

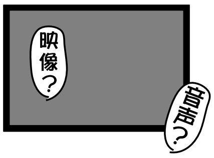
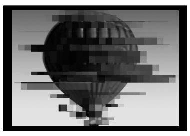
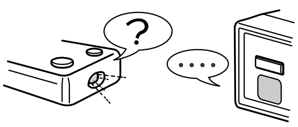
地上デジタル放送が正しく受信できない場合は、下記のフローチャートにしたがってお確かめください。また、必要に応じて電器店、アンテナ設置業者、CATV会社等にお問い合わせください。



- 本機はBSデジタルチューナーおよび110度CSデジタルチューナーを内蔵しておりません。BSデジタル放送および110度CSデジタル放送をご覧になる場合は、別途BSデジタルチューナーおよび110度CSデジタルチューナーをお求めください。
- アンテナの設置や地上デジタル放送に対応したアンテナかどうかについて、詳しくは電器店やアンテナ設置業者等にご相談ください。
- CATVをお使いの場合、詳しくは各CATV会社にご相談ください。
- マンションなど集合住宅の場合、詳しくはお住まいの管理組合または管理会社等にご相談ください。
- 地上デジタル放送は 現在の地上アナログ放送との混信を避けるため、当初は非常に小さい出力で送信されますので受信エリアが限定されます。
- 受信障害のある環境では放送エリア内でも受信できないことがあります。
- 専用のUHFアンテナ、デジタル放送対応のブースター・分配器などの機器が必要なことがあります。
- 地上デジタル放送局からの送信出力が増大されたときは、アンテナやブースターなど受信設備の再調整や変更が必要になることがあります。
- 本機では地上デジタル放送の電波の送出の変更に関する情報、周波数変更、新規の変更などを電波を通じて受信すると、「お知らせメッセージ」にメッセージが追加されます。それに合わせてチャンネルの再設定を行ってください。
- 地上アナログ放送などの電波の送出の変更については、新聞やテレビなどでの告知にご注意ください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に次のことをもう一度お調べください。なお、アフターサービスについては
55 ページをご覧ください。
次のことを調べても、なお異常があるときは、<ユニデンダイレクト>お客様センターにお電話いただくか、または<ユニデンダイレクト>ホームページよりお問い合わせください。（☞裏表紙をご覧ください）

こんなときには…	ここをご確認ください	ページ
映像も音声も出ない 	●電源コードが正しく接続されていますか？ ●リモコンまたは本体の電源ボタンを押しましたか？ ●アンテナは地上デジタル放送に対応していますか？ ●アンテナおよび各機器の接続は正しいですか？ ●各種設定は正しいですか？ ●テレビ側の入力切換で、本機が接続されていない入力端子を選んでいませんか？	24 25 20 19 ～ 24 46, 47 25
音声が出ない 	●テレビの音量調整が最小になっていませんか？ ●テレビが消音になっていませんか？ ●音声入力端子にオーディオケーブルは接続されていますか？	32 32 21 ～ 23
ブロックノイズが出る 	●電波状態が悪いことが考えられます。 ●アンテナは地上デジタル放送に対応していますか？	20 20
映像が横長や縦長になる 	●接続テレビ設定が接続されているテレビに合っていますか？	26、46
映像がモザイク状になる 	●電波状態が悪い場合が考えられます。	20
字幕が出ない	●字幕の設定が「切」になっていませんか？ ●字幕のある番組を視聴していますか？	47 34
リモコンが動作しない 	●電池は正しい向きで入っていますか？ ●リモコンの電池寿命が考えられます。 ●蛍光灯の強い光や直射日光がリモコン受光部に当たっていませんか？ ●本体とリモコンのリモコンコードは同じ番号になっていますか？	18 18 18 38

エラーメッセージ

画面に以下のエラーメッセージが表示された場合は、放送を視聴できません。

<table>
<tr><th>メッセージ</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td>IC カードを正しく装着してください。</td><td>• B-CAS カードが正しく挿入されていないときに表示されます。B-CAS カードを正しく挿入してください。</td></tr>
<tr><td>この IC カードは使用できません。
ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ
ご連絡ください。
コード : ※※※※</td><td rowspan="3">• B-CAS カードの交換が必要なときに表示されます。
• B-CAS カードが壊れたり、異なる IC カードが挿入されているときに表示されます。
• B-CAS カードの交換が必要な場合には、＜ユニデンダイレクト＞お客様センターにお電話いただくか、＜ユニデンダイレクト＞ホームページよりお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>この IC カードは使用できません。
正しい IC カードを装着してください。
コード : EC01</td></tr>
<tr><td>この IC カードではご覧になることができません。
ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ
ご連絡ください。
コード : EC02</td></tr>
</table>

保証とアフターサービス

保　証　書

型　　名		DT100-HDMI
品　　名		ハイビジョン対応 地上デジタルチューナー
保証期間		★お買い上げ日をご記入ください。 年　　月　　日 から　**1年間**
★お客様	ご住所	〒
	お名前	(ふりがな)
	TEL	市外局番 (　　　)

★シリアル番号

※ 製品のシリアル番号を控えておいてください。シリアル番号は、本体裏面のラベルに10桁の数字で記載されています。
※ ★印には必ず記入してあることを確認してください。
本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
※ 配送時の伝票をこの保証書と一緒に大切に保管してください。

開発製造元：ユニデン株式会社
〒104-8512　東京都中央区八丁堀 2-12-7

販売元：ユニデン・ディレクトイン株式会社
〒104-8512　東京都中央区八丁堀 2-12-7

- 取扱説明書、本体に印刷された注意事項に従った正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合は、本書をご提示のうえ、＜ユニデンダイレクト＞お客様センターに修理をご依頼ください。無償修理をさせていただきます。
- 次の様な場合は保証期間中でも有償修理になりますので、ご注意ください。
  - ・本書のご提示がない場合。
  - ・火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧および、その他の天災による故障、並びに損傷。
  - ・ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障、並びに損傷。
  - ・お買い上げ後の落下、および輸送上の故障、並びに損傷。
  - ・一般家庭以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載等など）に使用された場合の故障および損傷。
  - ・故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合。
- 本書は、日本国内に限り有効です。

＜ユニデンダイレクト＞お客様センター 当社製品のご注文・お取り扱い方法など、ご不明な点は下記にご相談ください。	
●商品のご注文　**0120-012-123**	●サポートダイヤル　**0120-20-20-70**
＜ユニデンダイレクト＞ホームページ　**http://www.uniden-direct.jp/**	

保証とアフターサービス（つづき）

- 本書に明示した保証期間および条件での修理をお約束します。
- この取扱説明書の「故障かな？と思ったら」（☞52 ページ）をよくお読みになり、点検を繰り返しても正常に作動しないときは、下記修理依頼票に記入または同内容を別紙にメモのうえ、＜ユニデンダイレクト＞お客様センターにご相談ください。
- 保証期間経過後の修理についても、＜ユニデンダイレクト＞お客様センターにご相談ください。修理によって機能が維持できるときは、お客様のご要望により有償にて修理いたします。

修理依頼票

型　名		DT100-HDMI
品　名		ハイビジョン対応 地上デジタルチューナー
シリアルナンバー※		
お客様	ご住所	〒
	お名前	(ふりがな)
	TEL	市外局番 (　　　　)
故障または異常の内容		
故障発生時の状況		
ご購入日		年　　　月　　　日

※シリアルナンバーは製品裏のシール部分に10桁以上の数字で記載されています。

メ モ

メモ

さくいん

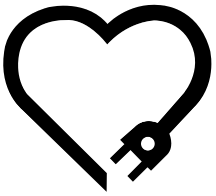
商品の詳しい説明は、〈ユニデンダイレクト〉ホームページにてご覧いただけます。

http://www.uniden-direct.jp/

⚠ 安全に関するご注意	ご使用の前には取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使いください。 水、湿気、ホコリ、油煙等の多い場所には設置しないでください。 火災、感電、故障の原因となることがあります。
取扱説明書は、右記のホームページにてご覧いただけます。	**http://www.uniden-direct.jp/support/DL.html**

愛情点検

ご使用のチューナーの点検を！ 〈熱、湿気、ホコリの影響や、使用度合によっては部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることがあります。〉



このような症状はありませんか

- ●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- ●上下、または左右の映像が欠けて映る。
- ●映像が時々消えることがある。
- ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ●電源スイッチを切っても、音や映像が消えない。
- ●内部に水や異物が入った。

→

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜き、必ず〈ユニデンダイレクト〉お客様センターにご相談ください。

保証書に関するお願い

- ● 保証書は、取扱説明書に添付されています。配送時の伝票と共に大切に保管してください。

注意事項

- ● 本機は、BSデジタルチューナーおよび110度CSデジタルチューナーを内蔵しておりません。BSデジタル放送および110度CSデジタル放送をご覧になる場合は、別途BSデジタルチューナーおよび110度CSデジタルチューナーをお求めください。
- ● アンテナの設置や地上デジタルに対応したアンテナかどうかについて、詳しくは電器店やアンテナ設置業者等にご相談ください。
- ● CATVをお使いの場合、詳しくは各CATV会社にご相談ください。
- ● マンションなど集合住宅の場合、詳しくはお住まいの管理組合または管理会社等にご相談ください。
- ● 地上デジタル放送は、現在の地上アナログ放送との混信を避けるため、当初は非常に小さい出力で送信されますので、受信エリアが限定されます。
- ● 受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できないことがあります。
- ● 専用のUHFアンテナ、デジタル放送対応のブースター・分配器などの機器が必要なことがあります。
- ● 地上デジタル放送局からの送信出力が増大されたときは、アンテナやブースターなど受信設備の再調整や変更が必要になることがあります。
- ● 本機では、地上デジタル放送の電波の送出が変更される情報（周波数変更、新規の変更など）を電波を通じて受信すると、「お知らせメッセージ」にメッセージが追加されます。それにあわせてチャンネルの再設定を行ってください。
- ● 地上アナログ放送などの電波の送出の変更については、新聞やテレビなどでの告知にご注意ください。
- ● テレビを接続するときは、必ず本機および接続するテレビの電源を「切」にしてください。
- ● 映像・音声接続用のプラグと端子は、色分けがしてあります。ケーブルと接続端子のそれぞれの色が合うように接続してください。
- ● 映像出力端子/音声出力端子には、映像/音声信号以外のものを接続しないでください。故障の原因となることがあります。
- ● 接続する機器の詳しい使用方法や接続については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- ● 市販の学習リモコンに弊社のリモコン信号を学習させることにより、市販の学習リモコンからご利用いただけます。
  弊社動作確認済み機種：ソニー RM-VL501、ビクター RM-A1500（ソニー、ビクターは各社の登録商標です。）
- ● 赤外線コードレスマイクやコードレスヘッドホンなどの赤外線通信機器と同時にご使用になられる場合は、これらの機器にノイズ等の障害を与えることがあります。
- ● HDMIは新しいインターフェイスです。そのため、接続する機器によってはつながりにくかったり、電源の入切が必要になる場合があります。
  HDMIおよびHDMIロゴはHDMI LISENSING LLCの商標または登録商標です。
- ● 補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
- ● らくらく設置サービスは別途有償にて選択できます。
- ● らくらく設置サービスには、開梱・設置・チャンネル設定・動作確認・梱包材回収が含まれます。また、配線が設置場所に整っている状態での設置のみが対象となります。
  配線コードの延長や壁の穴あけ等の作業は、サービスの対象外となりますので、あらかじめご了承ください。
- ● らくらく設置サービスには、アンテナ入手およびその設置は含まれていません。
- ● お届け地域により、らくらく設置サービスをご利用頂けない場合がございます。
- ● 製品の色は印刷物ですので実際の色とは若干異なる場合があります。
- ● 製品の仕様およびデザインは、改善等のため予告無く変更する場合があります。
- ● お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確な対応のため、通話内容を記録・録音させていただくことがあります。
- ● ユニデン株式会社およびその関連会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や配送・修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
- ● 電話受付時間は、諸般の事情により予告無く変更する場合があります。電話受付は、年末年始など特定の期間に休ませていただく場合があります。

ご注文時にお確かめください

- ● お届け地域により、別途配送料が発生する場合や、配送できない地域がございます。ご注文時にお確かめください。
- ● ご返品は、お客様の商品のお受取り後8日以内にご連絡をお願い致します。（お客様の責任によりキズや破損が生じた場合、一度ご使用になられた場合、らくらく設置サービスで設置された商品、付属品等の同梱物を紛失された場合、商品到着後9日以上経過した場合は返品の対象外となります。あらかじめご了承ください。）
  商品出荷後のお客様のご都合による返品・キャンセルの際は、送料・配送手配料等の実費をご負担いただきます。商品到着時に、破損、お申込商品と異なるなどの不備がある場合も8日以内に速やかに当社までご連絡ください。
- ● 機種によっては品切れや配送に時間がかかる場合がございますので、ご了承ください。

<ユニデンダイレクト>お客様センター 当社製品のご注文・お取り扱い方法など、ご不明な点は下記にご相談ください。

●商品のご注文 **0120-012-123**　●サポートダイヤル **0120-20-20-70**

DT100-HDMI　取扱説明書

発　行　日：2007年4月　第1版
開発・製造元：ユニデン株式会社
〒104-8512 東京都中央区八丁堀2-12-7
http://www.uniden.co.jp/
販　売　元：ユニデン・ディレクトイン株式会社
〒104-8512 東京都中央区八丁堀2-12-7
http://www.uniden-direct.jp/